滿洲日報
九月二十三日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本富代治
印刷人 本村武盛
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社

出迎へませう 第二次凱旋部隊
明朝九時半大連驛着

お、武勳の第六師團

晴れの凱旋を迎へて 大連驛頭感激の渦巻
けふ先發部隊將士着連

赫々たる武勳を輝かす第六師團凱旋將士松田少將以下鷲津部隊主力及び宇賀部隊の一部は先發隊として二十三日午前九時半の特別列車で凱旋した、昨年十二月七日入滿以來駐滿約十ケ月其の間吹雪を衝いて內蒙の沙漠を突破、長驅赤峰へ進擊、我が戰史上未曾有の壯擧を敢行し世界戰術家を驚かし、また轉戰長城線においては冷口、白羊峪の激戰に苦鬪を重ねた我が九州健兒である酷暑酷寒の風雨に曝された勇士の赭顏は駐滿十ケ月の困苦を銘してゐるが然し凱旋の喜びは朗かだ、赭顏を割つて哄笑が爆發する、沿道から日の丸の小旗を打振つて歡迎する日滿仕民の熱誠に感激して特別列車內は凱旋の歡喜興奮で打破れるやうだ

列車が定刻九時三十分大連驛プラットホームに到着すれば待ち構へた歡迎の市民が日の丸の小旗を振つてワッと萬歲を爆發する、高柳中將、滿鐵竹中理事、岡野市助役ほか官民名士、市內各學校團體、男女市民があの廣い驛廣場を立錐の餘地もない程埋めて無慮一萬五千、萬歲の歡呼が澄み切つた秋空に響いてプラットホームは出迎へる者、迎へられる者相混じて感激のルツボだ、直に整列した凱旋部隊は部隊長の命令一下、聯隊旗を前にして驛廣場中央に集合した、邊房だけ殘つた軍旗は多年激戰の軍功を物語り歡迎の市民思はず肅然として頭を下げる、嚠喨たる敬禮の喇叭の吹奏によつて敬禮を行ひ次いで岡野市助役は歡迎市民を代表して

我々は赤誠を以て武勳輝く第六師團凱旋勇士を御歡迎致します

と挨拶を述ぶれば松田少將は凱旋將士を代表し

大連市民各位はいつも歸還する戰傷病者また遺骨の送迎に多大の赤誠を以てせられ我々感謝のほかはありません、また我々今回の歸還に對し御熱誠なる歡迎に預り心から感謝致します

と音吐朗々と謝辭を述べた、斯くて午前十時凱旋部隊は騎馬の鷲津部隊長に率ゐられ軍旗を先頭に步武堂々と宿泊所の關東倉庫に向つた、この日驛廣場には本社歡迎門のほか大國旗を交叉し市中各門戶日章旗を揭げ歡迎した

戰の跡を顧みて
"勝利か死か"
第○○團長 松田少將談

二十三日凱旋した第六師團第○○團長松田國三少將は戰塵にやけた赭顏に鼻下左右八寸にも及ぶ美髯を蓄へたまことに凱旋將軍に相應しい堂々たるものだ、途中金州まで出迎へた記者團に對して元氣よく語る

去年十二月七日入滿してその間熱河、長城線の戰鬪に從つたわけだ、六師團が赤峰に向つた時の困苦は既に諸君も承知だらうがあの酷寒には兵は隨分苦勞したものだ、シベリヤ戰の時中野枝隊が

酷寒

の爲め約三百名の凍傷者を出したが皇軍としてはあれ以來の出來事だつた、多數の凍傷者を出したのはまことに濟まぬと思ふ、然し赤峰に入る城時は却て天候が幸したやうなものだつた、三月四日だつたがあの日天地晦冥となる程の吹雪で之が爲め敵は約二千四百ゐたが陣地にじつとして居れば凍死する爲め皆部落に集つて焚火を行ひ暖をとつてゐた、是が爲め六師團が吹雪を衝いて赤峰に迫つた時は陣地に就くことも出來ず周章逃亡してしまつた、是がため二千四百の敵を相手に我が六師團はたゞ負傷二名のみ一人の死者もなく赤峰を

占領

したのだ、實に意外だつた、それにしても兵があんな困苦に遭つても誰一人不足を云ふ者もなく上官の命に從ひ働いたことを見て流石日本軍だと心から感じた、日本軍は實にこの銃後の後援のため得る力が大きいものと思ふ、皆が皆精神的に背水の陣を布いて戰鬪してゐる出征の時あんなにまで國民の熱誠を以て送られ無爲には歸れない、といふこの氣持は自分だけでなく誰もが感じてゐるやうだだから勝つか死ぬかこの氣持こそ日本軍を強くする大きな力だとつくづく感じた(寫眞は松田少將)

迅風の進擊
◇―鷲津部隊長語る

二十三日第六師團第一回凱旋勇士を率ゐて來た鷲津部隊長は車中にて語る

我が部隊は熱河、灤東の戰後奉山線打虎山に駐屯して彰武、盤山間の地帶を守備してゐたが最近同地帶は百名以上の匪賊團の如きものは滅されて殆ど影を失ひたゞ二、三十名の強盜的なやつが殘つてゐるだけで治安も大變治まつた、我が部隊の戰死者は越替中佐、上原少佐、山口少尉以下二十名、病死三名で戰傷者は四十九名を出した、我が部隊の最も苦戰したのは長城線に於ける白羊峪の戰鬪だが此處で越替大隊長、下原中隊長、山口小隊長の各幹部を殺して了つたこの戰鬪で我が部隊としては最も損害が多くその次では冷口では七名の戰死者を出した、長城縣灤東地區の戰鬪は全く迅風の如く我軍が進擊したものであの時敵も十一、二ケ師團ゐたのだから敵が本氣で戰鬪するやうなら大變な激戰になつた筈のものだつた、丁度我が部隊が上倉鎭に敵と對時してゐる時に停戰協定が成つてやめたのだがあの時は北平は指呼のうちにあり双橋無電臺など見えた程であるから第一線にある者は北平入城出來ないのは實に殘念に思つてゐたものだよ

日本軍馬の改良は完成
宇賀部隊長談

二十三日凱旋した第六師團宇賀○部隊長は車中語る

野砲隊は戰鬪よりも行軍の苦難犧牲が遙かに大きい、然し今回の戰鬪で日本軍馬も永年の改良の結果愈々滿洲で立派に使へることが確信された、寒さにも十分堪へ得る自信がある、支那馬なんかとは比較にもならぬ程耐久力もあり強い、餘り日本馬は大事にし過ぎるのでよく支那馬の方が耐久力があるやうに云ふが支那馬を軍馬に使ふにはもつともつと改良しなければならない今滿洲國でやり始めたやうに聞いてゐるが日本軍馬の改良はこれで完成したものと思ふ

たゞ一人 無言の凱旋

二十三日第六師團第一回凱旋勇士が歡喜の顏を輝かせて元氣よく凱旋した中にたゞ一人物云はぬ悲しき凱旋が交つてゐた故一等銃工兵細川建吉君で部隊が凱旋の喜びに充ちてゐる直前同君は去る十六日奉山線において乘合した列車中匪賊が同車の十二萬圓現金をねらつて襲擊せる際孤軍奮鬪つひに壯烈な戰死を遂げたものである、細川一等兵の遺骨は白木の箱に納められ車中軍旗の前に安置され戰友の優しき餞の葡萄、梨等が供へられてあつた

ばいかる丸

二十四日のばいかる丸は七時半港外着の豫定

北鐵交涉の打開に ソ聯、我斡旋を依賴
外相、具體的交涉慫慂

【東京二十三日發國通】二十一日午後外務省に廣田外相を訪問して北鐵問題に關し懇談した駐日ロシア大使ユレニエフ氏は二十二日午後二時四十分重ねて外務省に外相を訪問し依然として行詰りに停頓して居る北鐵交涉促進方につき斡旋方を依賴したので外相は北鐵交涉の圓滿なる解決は我方の希望するところなるも未だ露滿双方において交涉の基礎たるべき換算率問題その他條件に關して當事者間の具體的意向さへ判明して居ない情況であつて具體的數字問題に關して兩者主張の限界が分明せざる限り日本から今積極的に斡旋するとか云ふ譯にも行かず相互今少し具體的事項について話合ひを進めらるべきことが先決問題のやうに思ふとて暗にロシア側が換算率を提示すべきことを慫慂した

邊業銀行取付

【奉天電話】學良華やかなりし頃の金融機關として活躍した天津の邊業銀行は學良の歐洲亡命に經營上多大の支障を來し一般の信用も低下しつゝあつたが突如北支政權が愈々黃郛氏一派の占むるところとなり學良の歸國復活も見込み薄となり學良の沒落の內情を暴露して取付けを受けるに至つた、滿洲も奉天、ハルビンには邊業の通貨を發行してゐるのでこれは地方貨として中央銀行で整理してをり天津邊業の取付には何等影響はない

陸軍明年度豫算 總額決定す
近く全部大藏省に回附

【東京特電二十三日發】明年度陸軍省豫算のうち滿洲事件費を除く新規要求二億三百萬圓は大藏省において一應査定を終り保留されてゐた滿洲事件費も約一億六千萬圓と決定近く大藏省に回附することゝなつた、その結果陸軍の明年度豫算總額は大體次の通りである(單位千圓)

項目	金額
一、標準豫算	二一六〇〇〇
一、新規要求	
資材整備費	一八〇〇〇〇
滿洲事件費	一六〇〇〇〇
燃料研究費その他	二八〇〇〇
小計	三六八〇〇〇
總計	五八三〇〇〇

輝く凱旋行進曲

寫眞は(上)殊勳の聯隊旗、(中)凱旋勇士の市中行進(下)驛廣場歡迎の市民左側は本社の歡迎塔

滿日婦人團 凱旋部隊接待

本社並に滿日婦人團では凱旋部隊の離連の日たる九月二十五、六、七及び十月五、六、七の六日間にわたり各日共午後一時半から第二埠頭待合所でおでん、湯茶その他の接待をすることになつたが接待には本社員、婦人團員の外に神明、彌生、羽衣の各同窓會員中の有志もこれに參加し武勳輝く將兵の歡待慰勞をなす筈であるから各有志同窓會員は參加され度いと

人事

▲松田國三少將(第六師團○團長)二十三日午前九時半來連遼東ホテル
▲平岡力少佐(松田少將副官)同上
▲鷲津鈆平大佐(第六師團部隊長)同上關東倉庫
▲宇賀武少佐(第六師團)同上
▲福島縣議一行七名 二十三日出帆大連丸で靑島、上海へ
▲岡本誠氏(海務局長)同上

◇轉戰また轉戰、大任を果したわれらの勇士凱旋。
◇軍國の秋に、步武堂々と歸る、九州健兒の雄々しさよ。
◇感激の嵐、感謝の雨、萬歲歡呼に大連市中沸き立つ。
◇人氣役者の缺けた國際聯盟は、氣の拔けたビールの如し。
◇擡頭したファショ聯盟は、ローマ製のアルコールが強い。
◇女が男になつてゐた、男が子供を產んでゐた、市井異變。

米穀統制聯合協議會

【東京二十三日發國通】米穀統制に對する拓務省植民地側態度は二十二日第二回目の聯合協議會で大體決定、會議經過に徵するに農林省の補付け減反案は相當程度修正をみた實質で拓務省は二十五日の第三回協議會で修正上の具體的協議をなする方針である

東天紅 (207)
田中純 林一三畫

モンナ・ヴンナ(三)

「どうすると言つたつて、どうもしようはないさ。まさか、お前さんにくつついて、滿洲くんだりまで行くわけにも行かないぢやらうから、わしはおとなしくお前さんの歸つて來るのを待つてとるよ」
松波老人が、くすぐつたさうに答へた。
「でも、あなたにその辛抱が出來て?三ケ月もの間」
「止むを得んさ。辛抱するさ」
「わたし、何だか心配だわ」
「何が心配なのさ」
「その間に、私のことなんか、忘れてしまはれるのぢやないかと思つて」
「はッ、はッ。お前さんも割りに心配性だな。こんな可愛いお前さんを、誰が忘れるものかね」
松波はさう言つて、晶子の腰のあたりを撫ぜ廻した。
「解らないわ。だつて、あなたのことですもの、その間に、屹度、淋しくなつて、ほかの女を手に入れやうとなさるに違ひないのですもの。さうすれば、わたしなんぞ厭になつてしまふかも知れないぢやないの」
「はッ、はッ。誰がお前さんを棄てたりするものかね。それよりも、お前さんの方が、よつぽどあぶないよ」
「まア、ひどいわ。わたしはそんな浮氣者ぢやなくつてよ。御心配なら、貞操帶はめて行つても好いわよ」
「はッ、はッ。まさか、貞操帶をはめるわけにも行かんぢやらうが……」
松波が、嬉しさうにげらげらと笑ひ出すと、晶子は妙に沈鬱な顏をして、しばらく默つてゐたが、突然、顏を擧げると、何かの決心をしたやうな色を見せて、
「それよりも、いつそ、私の留守の間、わたしの代りになる人を一人、お持ちにならない?」といつた。
「お前さんの代りになる人?」
松波は驚いたやうに訊き返した。
「え、つまり、その間の臨時の戀人をお持ちになるのよ」
「しかし、それでは、お前さんが今いうたことゝ反對になるぢやないか」と、老人は、にやにや笑ひながら言つた。
「ちつとも反對ぢやないわ。私にはね、あなたが、三ケ月もの長い間、一人で辛抱なさるやうな人でないことは、ちやんと解つてるの、だからその間、あなたに、決して言はないつもりなの。だつて、それは、男として不可能なことですもの。だから、その間に、人ぼつちでゐて下さいなどゝは、あなたが、お妾をお置きにならうと、藝者買ひをなさらうと、それは構はないと思ふの。だけど、私の一番厭なのは、その結果

なのよ。その結果、私が棄てられるやうなことになりはしないかと思ふと、わたし、不安でたまらないのよ。だから、むしろ、この際私の信用の置ける女を一人、私の代りに、あなたに推薦して行かうかと思つてるのよ」
「はッ、はッ。お前さんも、えらいことを思ひついたものだね」
老人は、なかば冷かすやうに笑つたが、內心では、ちよつと心が動いてゐた。
「それにね、このまゝで私が滿洲に行つたら、屹度また潤子のところへ歸つていらつしやるだらうと思ふから、それも心配なのよ」
晶子は言つた。「ほかの女なら構はないけれども、潤子との燒けぼつくいだけは私いやなの」
「ふふん、それで、お前さん、わしに推薦したい女が、何處に居るのかね」と、老人は、口のあたりをぴくぴくと痙攣させながら、訊いた。

十月一日から實施の滿鐵線改正時刻
旅客列車の新ダイヤ

滿鐵では十月一日から全線に亘り列車時刻の改正を行ふが主なる旅客列車の新ダイヤは左の如くで大連新京間一本、奉天新京間一本を増發してゐる(上の數字は列車番號▲印急行)

連京線(下り)

列車	大連發	奉天發	新京着
23	一、〇〇	一八、一〇	チチハル行
さ▲は	九、〇〇	一五、〇〇	一九、三〇
15	一〇、一〇	二二、一〇	六、〇〇
13▲	一六、一〇	二三、四〇	七、〇〇
25	—	七、三〇 チチハル行	
17	二二、〇〇	六、四五	一三、二五
19	二三、〇〇	八、四〇	一六、四〇
33	—	一六、〇〇	二三、〇〇

列車	營口發	奉天發	新京着
21	七、〇〇	一一、四〇	一八、二五

連京線(上り)

列車	新京發	奉天發	大連着
34	六、一〇	一三、一〇着	
さ▲は	九、〇〇	一三、二〇	一九、三〇
20	一一、一〇	一八、三〇	六、一〇
14▲	一六、一〇	二三、四〇	七、四〇
18	二二、〇〇	六、四〇	一六、四〇
16	二三、〇〇	八、三〇	一八、三〇
24	チチハル 6、10	一三、二五	七、〇〇

列車	新京發	奉天發	營口着
22	九、三〇	一七、二五	二二、四五

安奉線(下り)

列車	安東發	奉天着
5	七、〇〇	一四、〇〇

安奉線(上り)

列車	奉天發	安東着
201	一二、一五	一九、二五
1▲	一六、五〇	二三、五〇
3	二〇、五〇	六、〇〇
2▲	七、〇〇	一二、三〇
202	八、〇〇	一五、一〇
6	一四、四〇	二一、三〇
4	二三、〇〇	八、〇五

卽ち以上のダイヤを現在のダイヤと比較する時は一九、二十の兩列車を大連新京間に三三、三四の兩列車を新京奉天間に增發し第十一列車が二十分、第十三列車が五十分、第十四列車が二十分、第十五列車が四十分、第十七列車が一時間十分のスピードアップを行つてゐることが目立つてゐる、その他の改正要點も大體既報の如くで營口線、撫順線は共に本線主要列車との連絡可能を目標に改正され從來第十七、十八兩列車の一部を吉林に直通せしめてゐたものを第十九、二十に變更してゐる、なほ列車の編成は本線關係は二三、二二、一三、一七、一二、一四、一八、二四の各列車が各等連結、安奉線は二、六、四、五、一、三の各列車が各等連結となつてゐる

電氣記念日
十月一日に制定
滿洲電氣協會の催し

滿洲電氣協會では來る十月一日の滿鐵が大連濱町發電所を露國より引繼ぎ運轉開始せる日を電氣記念日に制定、同日より五日迄日滿協力下に全滿洲に電氣週間を催し過去の滿洲電氣事業の發達進步を祝福謳歌すると共に同協會の目的とする電氣智識の大衆化、電氣の普及利用を大々的に宣傳唱道するため右期間中左記の催しを行ひ電氣週間の趣旨を徹底させることになつた

一、印刷物頒布　卽ち電氣週間のポスター「電氣の心得」パンフレツト、電氣週間趣旨「電氣五則」ビラ「住みよい家」ビラ、電氣標語ビラを印刷一般に配布
一、特別放送　十月一日午後五時半より大連、奉天、新京、ハルビン各放送局で
一、通俗講演會　電氣週間中順大連、奉天、新京、四平街、安東の各地で
一、「新らしい電氣の世界」座談懇親會、三日午後四時より大連ヤマトホテルで
一、展覽會
(イ)電氣に因める兒童自由畫展覽會、一日より五日まで大連百貨店三階で
(ロ)電氣に因めるポスター及商業寫眞展覽會一日より五日まで新京で
一、見學　會員一同十月三日午後一時中央試驗所沙河口研究所に集合同所並西山屯貯水池を見學
一、記念スタンプ捺印　卽ち期間中電氣標語「産業立國電氣の力」等のスタンプも大連、奉天、新京、安東の各郵便局で
街は電氣事業者側でも協會の趣旨に贊し同期間中電氣週間表示のポスター、ビラ、パンフレツトの配付、記念店頭裝飾、商店大賣出、裝飾電車、バスの運轉を行ひ協贊する筈である

商船が北海道
大連線を開始

大阪商船では滿洲と北海道方面との貿易進展に寄與すべく北海道、大連航路を開始すべく調査中のところ北海道特産出廻り季節に入つたので今回左の如く根室、大連定期線(一航海約三十五日間)を開始し使用船には目下臺灣臨時線就航中の三千噸型の八雲丸および北京丸の內より一隻引拔き就航せしむることになり第一船は十月十二日頃根室發の豫定である

▲往航　根室、釧路、室蘭、函館、横濱、門司、大連
▲復航　大連、伊勢湾、横濱(又は裏日本)函館、室蘭、釧路、根室(但し積荷の都合により營口廻船の豫定)

軍事思想普及の
映畫デーを開催
沙河口劇場と協和會館で

海軍協會滿洲支部では軍事思想普及のため滿鐵地方課、大每支局並に本社後援で來る廿四日午後零時半及び同六時半の二回沙河口劇場で、また二十七日午後六時半から協和會館で軍事思想普及映畫デーを開催、興味ある軍事映畫を上映するが整理料十錢である

けさ軍艦『春日』入港

海防艦春日(七、四五〇噸)は二十三日午前七時半鎭南浦より入港第三岸壁三十區に繋留された、乘組員は艦長太田垣富三郎大佐外士官四十三名、下士官以下五百九十五名である、乘組將兵は同午前十時忠靈塔、大連神社に參拜したが、來る二十六日午前二時出港徽山に向ふ筈である(寫眞は忠靈塔下で休憩する海の勇士)

黒頭巾の怪强盜
三人組檢擧
新京荒しのルンペン

【新京電話】明方近く人々がまだ深い眠りに落ちて居る午前三時頃首都新京の眞中に覆面黒頭巾と云つた異樣な扮裝で物凄い短刀を懷に忍ばせ侵入し家人を縛し上げ猿ぐつわをはめ悠々と現金を探し出し何處ともなく姿を消す三人組の强盜團が去る八月以來頻々として出沒し而もそれが殆ど全部同一手口に當局では必死になり被害者の申立により朝鮮人と目星を付け嚴重捜査中犯人は當局の努力を尻目にかけ鬼神の如く各方面に出沒するに業を煮やし方向を變へて不良ルンペン日本人に目を付け且つ不良狩の際留置した高知縣生れ猪谷春重(二〇)福島縣生れ石塚悟一(二三)の最近の行動より或は彼等の仕業ではないかと睨み廿二日午後九時頃永樂町三丁目鮮人宋人下宿止宿中の前記兩名及び高知縣生れ山崎幸吉(二五)を逮捕し嚴重取調べを行つた所彼等は包み切れず遂に一切を自白したが、彼等の手によつてなされた加害の中二十三日朝まで判明せる分は約千四百六十圓に及びなほ多數ある見込みである、判明した犯罪事實は左の如し

▲八月十八日午前三時頃賀屋王誠方で七百二十九圓
▲八月二十八日午前三時頃富士町劉慶張方で四百圓
▲九月二日午前三時頃曉町張震喜方で六十五圓
▲九月十四日午前四時祝町兩替店許參部方で二百六十五圓

全撫順振はず
實業團快勝
全滿選拔野球大會

4A—0

大連新聞社主催第四回全滿選拔野球大會第一日目第一次戰たる全撫順對大連實業團戰は二十三日午前十時十五分より大連實業團球場に於いて福瀨(球審)森川、川上、酒井(壘審)四氏審判謝介石氏始球式後撫順先攻で開始したが實業終始壓迫を續け四A對零で實業勝つ閉戰午前十一時五十分

撫順	0	0	0	0	0	0	0	0	0	=0
實業	0	0	2	1	1	0	0	0	A	=4A

經過
◇一回　撫順井下右飛梶原投邪飛成松右飛▼實業野原二飛玉井四球で二盜後松木遊飛失に生き吉田の中飛に走者三、二進したが渡邊遊飛

(撫順)	打數	得點	安打	犠打	三振	四死	盜壘	刺殺	補殺	失策
6 井下	4	0	0	0	0	0	0	5	2	1
2 梶原	4	0	0	0	0	0	0	3	1	0
1 成松	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0
3 出原	4	0	1	0	0	1	0	6	1	0
8 渡邊	3	0	1	0	0	1	0	2	0	0
7 小寺	3	0	1	0	0	1	0	3	1	0
5 佐藤	2	0	0	0	0	1	0	0	0	2
5 (梅本)	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0
9 西山	3	0	1	0	0	1	0	2	0	1
4 杉谷	3	0	0	0	0	0	0	2	1	1
計	30	0	4	0	0	5	1	24	9	5

(實業)	打數	得點	安打	犠打	三振	四死	盜壘	刺殺	補殺	失策
6 野原	5	1	2	0	1	0	0	1	2	0
4 玉井	4	1	1	0	1	0	1	2	6	0
3 松木	4	2	1	0	0	0	0	9	0	0
8 吉田	4	0	2	0	1	1	0	3	0	0
2 渡邊	2	0	0	0	0	0	2	4	0	0
2 (井武)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
9 松尾	4	0	0	0	1	1	0	5	0	0
1 岩瀬	4	0	0	0	0	1	0	2	3	0
5 立石	3	0	2	0	1	0	1	0	0	0
7 中川	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	34	4	8	0	5	3	4	27	11	0

▲二壘打—松木立石▲併殺—實業1(野原—玉井—松木)▲試合時間—一時間三十五分

◇二回　撫順出原二ゴロ渡邊右中間單打小寺、佐藤ともに三振▼實業松尾三振岩瀬投ゴロ立石一越單打し二盜を企て二壘を占めたが中川左…

◇三回　撫順西山遊ゴロ杉谷投飛井下中飛▼實業野原三ゴロに生き玉井の一壘ゴロに…

◇四回　撫順梶原投邪飛成松右飛出原右中間單打渡邊三振▼實業立石三壘左を抜き…

◇五回　撫順佐藤投ゴロ西山谷右飛▼實業松木右飛…

◇六回　撫順井下右飛梶原…

大連滿倶勝つ
八對六で奉天滿倶惜敗

滿洲倶樂部對奉天倶樂部戰は(球審)松木、梶原、安藤(壘審)四氏審判滿倶先攻で開始

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	
滿倶	0	4	1	0	2	0	1	0	0	
奉天	1	1	0	4	0	0	0	0	0	

(滿倶)川上、原崎、柴田、下岡、谷山、須片、澤杉、松高、池永、小小
(奉天)孫、香村、島村、小田、橋原、大針、派幽、方大

經過
◇一回　滿倶柴原三飛…

女が女に—
二十年間は男で
戸籍の間違で悲鳴をあげた
荒木伊佐生さん一家

生れてこのかた二十年、女が男になつてゐた話——男の嫌ひ、女の徴兵檢査であわてふためき沙河口署戸籍係に泣きついて前後半ケ年を要しこの程やうやく男が女になり目出度く夫婦名乘りをあげた

原籍佐賀縣杵島郡北方村大字志之荒木稲峰の從妹伊佐生(いさを)(三〇)は市內敷島町に髮結業を營んでゐたが同縣の大町村出身澁上虎男(市內某工場事務員)と知り結婚し沙河口に移住し二人の間には愛の結晶、男子格一君が生れたそれは今よりおよそ二年前のことで沙河口署を通じ出生屆を出したが女の原籍地北方村役場では戸籍面上伊佐生は男子になつてをり、男が子を産むとはけしからんとあつて一蹴されてしまつた、不審を抱いた親族一同は村役場を相手に交渉を續けたが、伊佐生が女子であると云ふ唯一の證據である戸籍があつかつた關係は東京に去つてゐて行方分らず、彼女自身證明に出るにも出られず來春四月には適齡徴兵檢査召集に當つてをり、加ふるに二三ケ月後には又おめでたさあつてこの方の出生屆も出來ない狀態になるので弱り切つた揚句、聖德街二丁目山本代書人に一切を打ちあけ正式その交渉をさらせたのが半年前、この程やうやく鄕里武雄區裁判所より戸主荒木稲峰從弟伊佐生を從妹伊佐生と正式取消通知に接し同家は始めて正眞正銘の夫婦となることになり格一君始め生れんとする第二の愛兒も戸籍面上雄々しく名乘り上げることになつた、問題の起りは役場へ髮結業に屆け出たこと、伊佐生と云ふ名が餘りに中性的な名であつたことである(寫眞は伊佐生さんと格一君)

幽蘭女史から
救出依頼狀來る
小綏芬附近に人質

【ハルビン二十二日發國通】去る…日の北鐵東部線における幽…襲撃事件と時を同じうして…明となつた男裝の女丈夫本…女史の行方につき事件後兎…各種の噂が亂れ飛び眞相全く…救出の方法さてなく各方面…憂慮されてゐたが二十二日に…女史から救出依賴の便りが…ン鍋紋街ツルヤホテル主人…び込んで一切が判明するに…

臨時競馬
第一日午前

…五秒四、2漣(鼻)3嶋(大差)配當單十三圓廿錢複1四圓八十錢、2四圓八十錢、3四圓七十錢
▲第三競馬(抽吉十五頭)一六〇〇米　1寶山(山下騎手)二分十一秒四、2目黑(一馬身)3五秀(三馬身)配當八圓六十錢複1七圓二十錢2二十八圓九十錢3十二圓七十錢
▲第四競馬(秋抽十九頭)一六〇〇米　1海洋(佐伯騎手)二分一八秒四、2三響(大差)3正次(三馬身)配當單七圓三十錢…

隆華大勝
蹴球リーグ戰

FW	鋼倫 立寶 恒玉 東利 川奉 芝之	
HB	淸國 樹文 淸傳 臣曜 大作 言	
FB	干安 張超 郭倚 劉鄧 劉言 梓	
GK	13	
LK	6	
FK	0	
	2	

奉天拳銃强盜

…

北東の風晴時々曇
各地溫度　二十四日
滿潮　干潮

善鬼惡鬼（207）

平山蘆江作　刈谷深隍繪

電火（十）

「どうしたと仰しやるのです」

吉兵衛が袖口で鼻をおさへながら、聞いた。

「機械はさめました」

「機械を――」

「牢をあけて見て下さい」

「牢を、――樂齋どのは何を云つておいでぢや」

「これをおあづけ申す」

自分の前へのばした手の中に、ガチャ〳〵と云つてゐるのは合鍵らしい。

吉兵衛は受取つて牢の扉へあてがつて見た。扉は無事に開きさうだつた。

「待つて」

樂齋は吉兵衛の手をおさへたが、間もなく居間の方から雪洞に灯を入れて持つて來た。

雪洞を受取つて牢の中を照すと、中は濛々たる煙り、そして、息がつまるかと思はれる臭さであつたが、少しづゝ薄まつてゆく煙りの中に、眞黒な二つの塊が、さげ〳〵しくしやちこばつて、斃れてゐるのを見つけた。

「これは」

吉兵衛はのけぞるばかりに驚いた。

「不義ものを成敗いたしたのだ」

「成敗と仰しやるのは」

「成敗いたした」

さう云ひながら扉の際に立つた樂齋は例の左の片手に匕首を一本引きぬいてゐた。

「其刀で」

「いや、エレキの力で」

「おゝ、それでは、今のはげしい光りが」

「もし、あのエレキが利かないために、中からとび出すやうな事があつたら、只一突にこの切先へかけやうと思つたのです。萬一の時の用意ぢや」

「なるほど」

それ以上、吉兵衛は何もいひ得なかつた。

「吉兵衛どの、私の顏を見て下さい。立つても居てもゐられぬほどの喜び、このやうな嬉しさは近頃にない」

「むごい云ひ方ぢや。どうして、いつの間にそんなむごい云ひ方をするやうにはなられた」

「人を殺したのがむごいと仰しやるのか」

「いや、殺した上に、近頃にない嬉しさなど仰しやる心持がむごいと申しました」

「ははは、拙者の喜びはさうではない。先日から貴公といろ〳〵に工夫いたして居つたエレキテールの力を強める事、あれが美事に成功いたしその實驗が、この通りに目のあたりに整つたので、此の上もない嬉しさと申して居ります」

「お、あれが、あの強藥のエレキか」

「貴公も嬉しからう、思ひがけない事で、思ひがけないためしが出來ました。もう大丈夫だ、これからは、あしたからは、第三段のためしに取りかゝれる」

「や、それは〳〵、全くおめでたうござる」

「おめでたう、吉兵衛どの」

「おめでたう、樂齋どの」

人二人を犧牲にする事によつて、エレキの新工夫が出來た事を、二人は夢中になつて喜んだが、適に吉兵衛はすぐに我れにかへつた。

「併し、それにつけてもエレキのためし臺になつたこの罪人は不愍千萬です」

「不愍といへば不愍だが、是非もない事ぢや。當然の酬いかも知れぬ。云はば、不義ものの成敗ぢや」

「この罪人の言葉をお聞きになつたか」

「聞きました。聞いたゆゑにこそ、ためして見る氣になりました」

「ではやつぱりはじめから不義成敗のために――」

「いや、成敗する氣はなかつた。成敗以上の苦しみを見さしてやらうと思つたのだが、思ひがけなく、強藥のエレキが利きすぎて、結句、こいつらには仕合せであつたかも知れぬ。苦痛を一切省いてやつたからなア。ははは」

朗らかに笑つてゐる樂齋を、吉兵衛はびつくりして見つめた。

「ためしついでに、今一人ためして見てもよい男がゐる」

獨り言ともつかず、吉兵衛に云つて、樂齋はニヤリと笑つた。

天龍下れば

松竹サウンド版　中央映畫館上映

市丸の流行小唄「天龍下れば」を主題とする松竹蒲田のオールサウンド版で野村芳亭原作監督、松崎博臣脚色、長井信一撮影、天龍峽にロケした作品で川崎弘子と竹内良一が主演してゐる

ストオリイは友達と共に天龍下りをした學生木崎（竹内良一）が、ふとした機會で藝妓照香（川崎弘子）を庇つたことが緣となり、照香は木崎を慕ふやうになり、遂に姉藝妓の千代菊（八雲理惠子）の許しを受けて上京し木崎の友人長田兄妹（江川宇禮雄、水久保澄子）の親切で木崎のアパートに住ひ百貨店の賣子となつて、つゝしまやかな而も嬉しい日を送るうちに風邪がもとで床につく、そこへ千代菊が訪れて來て、去り難い東京を病氣のため木崎と別れて郷里に歸る、そのうちに照香の父が現はれ、嬉しい父子の再會も束の間、病は惡化して木崎が電報で駈けつけると共に照香は思ひも果さず純情な戀を抱いたまゝ淋しく散つて行く

この青年と少女の純情なテーマにして「天國に結ぶ戀」のコムビである竹内川崎を主演者として野村芳亭監督が大衆を狙つて紅涙をそゝる映畫であるから一般受けがする作品となつてゐる（寫眞は竹内と川崎）

あすの放送

大連　JQAK　九月二十四日

▲午前六時　ラヂオ體操第二
▲午前六時卅分　ラヂオ體操第一
▲午前十時　レコード（ビクター、コロンビヤ、ポリドール）
▲午後零時一分　大連新聞社主催全滿選拔野球大會實況（實業グラウンドより中繼）
▲午後零時十分　ニユース
▲午後三時卅分　ニユース
▲午後六時　ニユース
▲午後六時卅分（東京より）長唄（一）「紅葉詣」唄吉住小七郎、同吉住小吉郎、吉住小文郎、三味線稀音家四郎太郎、三味線稀音家三郎、上調子稀音家五郎、（二）「神田祭」幸堂得知作詞、吉住小三郎稀音家六四郎作曲、唄吉住小三八、同吉住小六郎、同吉住小平次、笛住田又三郎、小鼓望月左吉、大鼓望月孝太郎、三味線稀音家四郎助、同稀音家六郎、同稀音家四郎雄、同望月吉左久、太鼓望月長四郎、同望月吉左久、大太鼓望月左七、鉦望月清藏
▲午後八時十分（東京より）ラヂオ風景「秋を迎へ」釣りの秋（吉山朝音作）野球の秋（麻生豐作）郊外の秋（太田四州作）出演者藤村秀夫、柳永二郎、吉岡啓太郎、山田巳之助、本橋道夫、池内情峰、寺島榮一、高梨儀堂、木村正夫、小杉義男、保瀬薫、生方賢一郎、村田みれ子、西條靜子、その他大勢、放送局編輯
▲午後八時三十一分　ニユース▲氣象通報

朝夕刊共十二頁
定價 一部五錢 一ヶ月一圓二十錢 郵稅一ヶ月十一錢
廣告料 普通一行金一圓三十錢 特別一行金二圓六十錢 場所指定二割以上加算
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社 振替口座大連六〇番

米國のソ聯正式承認 三週間內に實現せん
日本牽制と自國の經濟轉換策 裏面に潛む重大意義

【東京特電二十三日發】ニユーヨーク二十一日來電によれば米國のソ聯國承認はハル國務長官の言明はないが茲三週間以內に實現するものと觀られて來た、この積極的原因は最近のアムトルグと復興金融會社との四千萬弗借款問題および目下行はれてゐる五千萬弗の信用擴張等ソ聯との修交により經濟難關打開の道が開かれてゐる點であるが今回の承認の背後に政治的意味が重大な要素をなしてゐることは疑はれない、商賣だけなら現在も何の障礙なく行はれてゐるから特に承認を急ぐ必要はない、米側としては極東の微妙な空氣を利用し一に日本牽制のためと自國經濟轉換に利用せんためでソ聯も內には飢饉に襲はれ外には日本との異常な緊張による壓迫から米國との提携の必要を感じたためである

方振武軍に撤退要求
我當局遂に態度決定

【北平特電廿二日發】方振武、吉鴻昌等の聯合軍が懷柔を占領し附近一帶に進出しつゝある事態に對し右は停戰協定の武裝支那軍の不進出に關する規定に違反するものであるのでわが當局においては之を頗る重大視し關係當局間に對策を打合せ中であつたが柴山北平駐在武官は各方面と打合せの結果停戰協定に基く支那軍不侵入地域內にかくの如き武裝支那軍の進入せることは絕對にこれを許さずとし該軍隊に對しては一定期間內に地域外へ撤退を要求し若しこれに從はぬ場合軍獨自の立場において斷乎たる手段に出るとゝもに同時に何應欽に對してこの旨通告するとともに討伐軍を右の地方に差し向けることは停戰協定を覆す恐れあるのでこれを差し控へること支那新聞の右に關する記事の取締をなすことを通告した

柴山武官聲明

【北平特電二十二日發】柴山駐在武官は別項の如く懷柔附近雜軍侵入に對するわが當局の態度を通告するとゝもに方振武等に對しても撤退要求の通告を發することゝなつたが右について二十二日談話の形式で左の如く聲明した
日本軍部は停戰協定に基く支那軍不侵入の地域內にかくの如き武裝團體を絕對許すことは出來ない、よつて該軍に對しては速かに非武裝地域外に退去することを要求す可く、これに從はぬ場合は軍は獨自の立場において斷乎たる手段に出る、又北支軍憲當局が停戰協定の線を超えてその軍隊を北上せしむることも前述の趣旨により誤解を招く恐れあるをもつてこれを容認することが出來ない、支那紙が日本飛行機順義懷柔を偵察すとあたかも方軍と關係ある如き記事を揭げてゐるが我を誣ふるも甚だしい停戰地域內に斯かる事態發生した場合これを確認するため飛行機その他の方法を以て偵察することは停戰協定に明示するところのわが當然の權利である、關東軍は再三、再四聲明せる通り進退は公明正大であつてその何れにも與することを斷じて無い、內亂を繰返し北支政局を不安定ならしむることは終始排擊すべきであり一日も早く和平の訪れることを翹望してゐる次第である

その後の熱河 (2) 承德市街……山口特派員撮影 島田特派員記

◇承德はその昔北狄の根據地、三面峨々たる山峰に圍まれ、殘る一面は灤河支流早瀨をなして天然の要害を築いてゐる
◇北狄淺度かこの地に中央侵略の策を練つたが、淸朝中央に覇を稱へるや夏の宮殿を置いて關外の備へとした
◇下つて湯玉麟此處に蟠居して軍閥の暴政をほしいまゝにすること幾春秋、遂に追はれて今は熱河建設の策源地として、省政府に五色旗翻り、住民に生色みなぎる……

外交權の獨立制確立
外相、陸海兩相と折衝

【東京特電二十三日發】廣田外相は就任以來、從來の外交經過を聽取してゐるが帝國外交が滿洲國獨立承認と聯盟脫退とを眼目として總力を集中せる結果、他の外交政策につきおろそかになる傾きなしとしないため、これを改め外交權の獨立制を確立せんとしてゐる、外交と國防が盾の兩面の如き關係を有するためこの重要問題を圓滿に處理すべく荒木陸相、大角海相とも屢々會見し外交權の作用し得べき範圍につき充分諒解を遂げんとしてゐる

廿世紀のシイザア
中歐のファッショ機運に ムッソリーニ氣動く

【東京特電二十三日發】ジユネーブ二十一日發電によればドイツのヒットラー政權の確立、オーストリアのファッショ轉向等中部ヨーロッパは反動的ファッシズムの嵐のなかにあるがファッショの宗家ムッソリーニはこの情勢を見、中部歐羅巴にファッシスト聯盟を結成し自らその盟主たらんとの野心あるもの、如く關係各國政府および國際聯盟を憾ましてゐる、更に最近イタリーの智識階級は世界的羅馬運動を起さんとし各國に實行委員會を組織せんとしてゐる模樣でムッソリーニは二十世紀のジユリアス・シイザアたらんとする野望を持つといはれ各國より成行を注目さる

軍事費の增加は國民の損失か
軍備充實の一考察

◇軍備充實に伴ふ經費の要求に對し、之を財政的に如何に處理するかゞ九年度豫算編成の中心問題となつてゐる。我國の豫算は昭和七年度以降急激の膨脹を示し、六年度の十四億餘から七年度二十億餘となり、八年度は更に二十二億二千五百萬圓に上り、歲入不足を補塡するため七年度七億八千萬圓八年度約九億圓の赤字公債の發行を餘儀なくされてゐるところへ、九年度に於いても、海軍の補充計畫、陸軍の資材整備費及び滿洲事件費等の要求のため、依然赤字公債の續發が不可避となり、累增する公債額とこれに伴ふ經費の增大とから、國家財政の前途が頗る憂慮されてゐるのだ。

◇これを民政黨式の財政觀からすれば不堅實極まる財政々策であつて、財政の破綻、經濟機構の壞滅がやがて到るであらうとも見えるのであるが、これは恰も往年政友會の公債政策を盛んに攻擊したと同じく、あまりに金融資本本位の所論であつて國家經濟の全體を見ない議論である。單に公債の價格を維持し爲替を釣り上げて金融資本家を利することが財政の要諦であるならば、國費は悉く切り詰め、公債は全く發行しないに越したことはないが、國家は活きものであり、國政は國民大衆の利益を目標とせねばならぬ。從つて國運の進展に必要な施設は公債を以てしても之を行ふことが至當である。況や公債は外國に仰ぐものではなくして國民が之を負擔し、是に國家に對する債權を保有してゐるのであるから國家經濟全體から見て些の損失はないのである。

◇殊に國防費は國家存立の保障上不可避のものである。滿洲事件費は滿洲國の發展を助長し、兩國共存の實を擧ぐるために必要なものである。而して此の支出は國家國民の損失となるものではなくして、國民を利益することになる。何となれば、若し我國の工業能力が昔のやうに幼稚であつて兵器軍需品の製造すべて外國に仰がねばならぬ狀態であつたならば、此の結果は外國の工場主は勞働者を利益することゝならうが、現下の我工業力を以てすれば、陸海軍に必要なものは殆ど總て自給し得る。卽ち國防充實費は我工業界の活況となり、勞働者の生活を霑ほすことゝなる。又滿洲事件費が滿洲の治安を維持し、其の產業を助成しつゝあることは更めて說くまでもない。從來の財政論者は動もすれば公債に對して生產的公債、不生產的公債と區分を與へる。此の論法で行くならば、內地の我田引鐵事業公債などは生產的で、滿洲事件費公債は不生產的といふことにならうが此の孰が大局より見て生產的であるかは、現今の國民大衆は旣に判別を誤らぬ筈である。

◇財政當局者はとかく從來の貨幣本位の財政觀に捉はれて公債の增發を極力避けやうとする軍部は國家將來の大局から考へて其の要求を強行しやうとするのだが、此の間の利害得失を充分に解說して財政當局者を首肯せしめ、一般民衆を納得せしむる手段を盡す上に於いては尙不足の處があるため、單に其の態度の強硬のみが目立つて來る。要するに國費の膨脹、公債の增大は金融資本家を中心に負擔能力ある階級は悅ばないのであるが、一方に於いて國民大衆の生活は却つて解放されることにならう。謂ふまでもなく資本主義は今や世界的に行詰まりに逢着し、何等かの改革が加へられねば濟まぬ狀勢にある。此のとき我國の資本主義は軍備充實によつて改革の契機が與へられつゝあるものと見られぬこともない。此の機會を善用することによつて所謂資本主義の是正が不知不識の間に成就することゝなれば我國民全體としての幸福である。之が當面の軍備インフレ問題の一考察だ。（東京支社一記者）

對日差別的關稅 設定は不能
印度當業者代表強硬

【東京特電廿三日發】孟買廿二日發電によれば確なる筋より得た情報によるとランカシア代表と印度紡績業者代表は一日以來會商を續けてゐるがその內容は極秘にされてゐるが、次の如き協定に達した模樣である
一、日本人絹織物の輸入を絕對禁止すること、英は自國人絹保護のため、印は間接に打擊をうける綿業のため全く意見一致
二、輸入割當制については印度側に猛烈な反對のため纏まらず
三、特惠關稅について印度側では日本は印棉の得意先なるためランカシアにもつと印棉を使つて貰ふ保障を得ることは困難な現狀から目下棉價の下落してゐる以外に英と日本とに差別的關稅を設けることは出來ぬ
以上の如く印度は豫想以上の強硬態度に出た

シムラ會商 前途暗澹

【シムラ二十二日發國通】シムラ

失敗に終るか

【ボンベイ二十二日發國通】十八日からボンベイで開催された英印綿業協議會は開會後數日を出ぬ今日、早くも双方に議論百出し徒らに双方の協調の必要を力說するのみで中傷的議論に終始し何等の具體的成果をみず、豫期に反し完全な失敗に終る模樣である、英國側は印度が午後太物に中心を置くべきことを主張し、その對英輸出に就ては英國官民ともに充分利用の途を講ずる旨を約したが英印割當て制度問題は印度紡績側において斯くの如き制度は印度紡績將來の發展を阻害するものであるとの强硬反對論が出た爲め、ものにならなかつた

會商は二十三日豫備會商と二十五日より本會議開催するが會議の前途は日英印とも肚打あけず混沌として豫測させず、卽ち日本は條約復活と關稅引下げを要求すべくこれに對しイギリスは印度を利用し日本勢力の增加として印度側はこの機會に國產產業開發せんとし三國各々駈引をなし棉花收穫期の切迫につれ農民の立場を考慮し複雜化せん

農產物價の暴落に 滿洲國の對策
近く奉天省成案提出

【奉天電話】滿洲國本年の農產物收穫は例年に比し豐作を豫想されてゐるが、その大宗をなす高粱、小麥の相場は非常な暴落ぶりを示し生產原價より低下する狀況にあり、ために農村は極度に疲弊してゐるその原因は關稅獨立後南支北支の不當課稅による輸出杜絕と滿洲國のデフレーションによる國內金融の逼迫及び在滿糧棧の反對による中央銀行の特產買付け中止等によるものであるが最も重要なる日本の米價調節に對比すべき農產物價の調節機關のなきことで事態をこのまゝ放任するときは農業立國の滿洲國に一大危機を醸す惧れあり奉天實業廳に於いては收穫期を控へ應急策を考究すること、なり近く成案を得て中央部に提出することになつた

誠意なければ交涉打切り
ソ聯、大田大使に暗示

【東京特電二十二日發】モスクワ發電によれば二十一日ソコルニコフ外務次官と大田大使は北鐵問題に關し三時間にわたり會談をなした、その趣旨は滿洲國が日本の指導の下に蘇側の占むる北鐵管理局長の權限縮小により、滿洲國側の占むる管理局次長に實權を持たせんとする計畫及び蘇側の職員を追放せんとする計畫ある確報を得たがこれは滿洲國側の實力接收の端緒と見做され讓渡交渉を有利に導くものにあらず、滿洲國側がかく不誠意の態度をとれば讓渡交渉を打切る覺悟を有することを暗示したといはる、右會談中注目すべきは滿洲國の行動に對し全面的責任は日本が負ふべきであると言明したことである

長は左の如く語る
滿洲幣制は國幣が段々信用を高めてゐる世間で近頃滿洲國に爲替管理法を布いたなど、傳へられるが全く流說で爲替取引未だ少くこの必要はない、滿洲國に

廣田新外相
米國に呼掛く

【東京二十三日發國通】非常時外交を擔つて起つた廣田新外相は二十二日午後、秋の陽に映える外務省裏庭の芝生で米國フオックス・ムーヴイ・トーキー會社のトーキーの演說をなした
…に納まり
アメリカ合衆國は經濟不況打開の爲め產業復興政策に依り大規模な對策を講じつゝあるがこれは眞實に時機に適したもので日米兩國は兩國經濟關係の改善發展の爲めに今後も手を握り合つて進み度い

漂ふ一抹の寂寥
七十六回聯盟理事會

【ジユネーヴ二十二日發國通】第七十六回聯盟理事會は二十二日午前十時四十分よりノルウエー代表モーウインケルを議長として非公式に開會された、聯盟脫退通告まで常任理事國として活躍した日本代表席が空席となり數名の書記官のみその後方に着席、議事傍聽してゐるのが支那代表顧維鈞氏の出席と對比して一抹の寂しさをたゞよはせてゐる、右會議では聯盟の行政並びに豫算問題が討議された後公開會議に移り阿片諮問委員會事業その他討議された席上支那代表顧維鈞氏は「支那政府は阿片の害毒を除去し麻藥類の取締りの決意を有す」と述べた明日午前十時卅分再開とし十一時五十五分散會

金本位制を採用せよといつてゐる人があるやうだが現在金本位制にする積極的理由もなく當分銀本位に決定してゐる

棉花會社の創立を急ぐ

【奉天電話】十ケ年計畫を以て獎勵してゐる滿洲棉花に對し實業部としては獎勵機關である棉花株式會社の創立を急いでゐるが政府に對し九月に五十萬元十月に五十萬元十一月二百萬元その他合計六百五十萬元の支出方を要求し愈々棉花會社を設立する意嚮である、なほ棉花の政府買上げ指定市價に付ては會社の創設を先決問題として硏究を重ねてゐる

第二次凱旋部隊
けさ九時半大連驛着

「能登呂」出港

旅順港外黃金山沖に碇泊中の能登呂は二十二日午後十一時拔錨遭難機機搜查を兼ね訓練のため渤海方面へ出港、二十七、八日頃旅順へ歸港の豫定であるが同艦搭載飛行機○臺は艦を離れ艦上、空中相呼應訓練のかたはら極力機體の發見に努める
又一方水產會旅順支部に於ける遭難場所を中心とする漁船の掃海作業は必然あらゆる方法を講じ發見搜查に努めつゝある

青木部長歸京

【東京二十三日發國通】先月末渡滿しつぶさに滿洲金融狀態を視察した大藏省の青木外國爲替管理部

村上滿鐵理事

鐵道問題協議のため新京出張中の滿鐵村上理事は二十三日朝八時着列車で歸連したが廿八日大連發北鮮に赴く豫定

富田理財局長

去る三日陸路來滿滿洲國の財政經濟事情を視察の後滯連中であつた大藏省理財局長富田勇太郞氏は廿四日出帆うすりい丸で歸京する筈

國務會議々案

【新京電話】二十五日の第四十五回國務院大會議上程案
一、與安省處理司法事務暫行辦法

世界新記錄作成に一流選手試泳

三十日から神宮水上大會に 興味ある新しい試み

【東京二十三日發國通】日本水上競技聯盟が來る三十日、十月一、二日の三日間に亘り行ふ神宮水上大會のプログラムは二十二日發表されたが、その中に同聯盟が世界に誇りとする一流選手數名を限つて世界新記錄作成の爲め特に試泳を行ふことに決定した、卽ち最近最も好調を示して居るこれ等選手の中、遊佐(百米、二百米自由型)牧野(二百米、四百米自由型)北村(五百米自由型)清川、入江、河津(二百米背泳)小池(二百米平泳、五百米平泳)に對して世界新記錄を作成せしめんとするものでプールは二十五米とする豫定である、現在日本が有する世界新記錄は牧野の四百米北村の八百米及び千米の三種目である、右試泳に成功することせば茲に又もや素晴らしい世界新記錄が作られる譯である

大倶惜敗す

對滿鐵ラグビー戰

シーズン當初のビッグゲームたる大連滿鐵對大連倶樂部ラグビー戰は廿三日午後二時より大連運動場に於て野口(主審)土井矢野(線審)三氏審判の下に開始、大倶終始壓迫を續け前半戰ひをリードしたが、後半滿鐵力戰の末形勢逆轉大倶追擊物凄くノウサイド直前一トライを擧げたが遂に十七對十六の接戰で大倶惜敗した

	大倶	滿鐵
(前半)	0 0 5 5 0 0 10	0 0 0 0 0 3 3
(後半)	0 0 3 0 0 3 6	3 0 0 5 3 3 14
總計	16	17

經過 ◇前半…大倶トスに勝ち風上(プール側)に陣し滿鐵キックオフ、三分中央線のルーズの球大倶に出でTB强引に滿鐵陣二十五碼に攻入つたが柏原のタックルに成らず後ルーズの球再び出で立上ドロップゴールうかゞうも成らず五分滿鐵陣二十五碼邊にて大倶オフサイドして中央線に盛返される滿軍FW調子出でず中央線で一進一退七分ルーズの球大倶に出でたが聯絡惡く却つて滿鐵に乘ぜられ自陣二十五碼內に攻入れられ八分滿鐵はペナルティーを得て中山ゴールをうかゞつたが成らず十二分大倶强引に攻め立て、敵ゴール前に壓迫を續ける裡大倶に球出で小手川大きく左に廻はらんとするも森高好タックルしてよく之をとゞめる、十四分更に大倶深く攻入りルーズの球を得て桂滿鐵FWの隙を拔き岡島に渡り最初のトライを擧げ立上コンバート▲十五分中央邊のルーズの球滿鐵に出たるに岡島リメーンしてオフサイド、滿鐵三十碼に攻入り、ラインアウトの球滿鐵に出でTBパスにて攻入るも尾田の凡失にタッチ、十八分中央邊の混戰の球大倶に出で三原に渡り三原左に大きく廻つてゴール直下にトライ立上コンバート大倶十點を得て優勢▲二十分三原再び球を得て攻入らんとするも小林の好タックルにタッチ、ラインアウトの球滿鐵に出で齋藤廿五碼に攻入るもドリブル大き過ぎドロップアウト、廿二分滿鐵柏原のキックに二十五碼に攻入る、滿鐵FWのバック惡く大倶のFWにごしごし割られ又攻擊も個人の突進に止まるのみ、二十九分大倶ドリブルに滿鐵ゴール線前に攻入るもオフサイドに返され大倶陣三十碼のルーズの球大倶に出でHBキック惡く滿鐵渡邊良く摑み單身攻入りトライ中山ゴール成らず大倶のリードに前半を終る

◇後半…二分滿鐵FWドリブルで大倶陣二十五碼內に攻入りFBのヘルドに田中ドロップキックして得點を增す▲五分大倶岡澤大きくキックして攻入るもドロップアウト、十分中山强引に出るもスピード足らず大倶TB線を拔けず、十四分滿鐵陣廿五碼線のスクラムの球大倶に出でTBパスで攻め三原に渡り二十碼邊にて柏原のタックルに止まるも再び拾つて中央ゴール直下にトライ、ゴール成らず▲滿鐵はFWとTBの聯絡惡く、折角得た球を大倶に乘ぜられチャンス摑めず大倶は敵のTB線を巧に破り成功す、十八分滿鐵FWのマスドリブル大倶陣を突破し杉崎の好フォローでトライ、齋藤コンバート▲廿一分滿鐵TBのコンビネーション好く敵ゴール線前に攻入るも岡島のインターセプトに返さる、其後大倶三十碼邊の球を柏原拾ひ田中にパスし田中トライ、ゴールならず滿鐵一點をリード勝敗決せず▲廿五分渡邊大倶FWを拔きゴール前迄進むもフォローした杉崎にパスせず小手川の好タックルに止む、廿七分大倶籔田タッチ線附近を突進するもカッティングきかずドロップアウト二十八分岡島再び美事なインターセプトするもフォロー惡くつぶさる後ルーズの球滿鐵TB森高に渡りクロスキックを齋藤拾ひ中央にトライノウゴール▲大倶進擊物凄く壓迫を續けるうち中央のルーズの球岡澤得そのまゝ突進してトライノウゴール遂に十七對十六で大倶惜敗す

(大倶)
FW	HB	TB	FB
澤原谷木川川田田上峽島田島原	佐々手小藤	長三岡桂北岡梅寺木立藪內	

(滿鐵)
FW	HB	TB	FB
內林藤崎邊島子原藤山	高山	中田原池小齋杉渡大田日齋西森中田尾	柏

醫大、各競技共壓倒的大勝

對城大豫科競技大會

【奉天電話】本年最初の試みとして期待されてゐた京城帝大豫科と滿洲醫大豫科對抗競技大會は秋晴れの絕好の運動日和に惠まれて二十三日午前八時から醫大グラウンドにおいて盛大に開始されたがこれに先立ち兩大學豫科生職員來賓入場して厳かな國旗揭揚式が行はれ醫大學長代理奧山豫科主事の挨拶に次で豫科生徒代表の宣誓式後國き握手が交され午前八時四十分兩校應援團の爭ひも秋空に相應はしい熱と意氣に燃ゆる兩大學應援團と多數詰めかけた觀衆に沸き返る應援の下に陸上競技百米から開始された、兩大學選手とも彌が上にも緊張しその活躍振りは物凄いものがあつたが陸上競技は長距離を除く外フイルド、トラック共に醫大大いに振ひ遂に六十一對四十四で十七點の差を以て醫大先づ勝つ、弓道も四十二對二十九で醫大連勝し大いに氣焰を揚げ午後に至り一時より劍道試合に移り兩軍選手十名で三本勝負切拔法で開始されたが城大軍の力戰も及ばず醫大軍不戰四名を殘して大勝す

承認一周年を迎へて 建設され行く滿洲國 (10)

建國以來の豫算 (三)

主計處長　松田令輔

大同二年度豫算

建國第三次の大同二年度總豫算は去る六月三十日各特別會計豫算と共に決定其の公布を見た總豫算は歲入歲出各一四九、一六九、一七八圓にして前年度に比し歲入歲出各三五、八六一、一二三圓を增加した、本年度も前年に引續き財政の確立を期すると共に治安の維持を第一とし其他主として中央地方の行政、財政の整理、產業開發に要すべき諸經費を計上し大樣左記により編成せられた、卽ち歲入の方面においては

イ、公債金は國道建設財源として起債を繰延べられたる旣定計畫に屬する七百萬圓を計上するの外歲入缺陷補塡の意味に於ける公債は一切之を絕さす

ロ、治安の恢復、幣價の安定、徵稅制度の改善等各種の事由に基く關稅及內國稅の增收、專賣益金の增加を見込むと共に官產及官業の統制整理に伴ふ增收を見込んだ

ハ、建國年度決算に因り生じたる歲計の剩餘金を歲入に繰入れた

又歲出の方面に於ては

イ、治安維持に重點を置き軍警の給與を治く確實ならしむると共に夏季における治安維持費及討伐費を計上した

ロ、一般產業開發の基礎を確立する爲滿洲中央銀行の資本金を拂込むの外主要緊急なる國道路線の建設、重要產業に對する出資其他各般の新規施設に要する經費を計上した

ハ、地方行政の整備及財政の獨立を目標とし縣市に對する必要なる補助費を計上した

ニ、治外法權撤廢の前提として地方司法機關の統制、法官の向上設備の改善等に要する經費を計上した

ホ、國際信用を重んじ引續き關稅及鹽稅擔保附外債元利償還基金と積缺償還金とを計上した

ヘ、一般國債の整理のため減債基金の制を創め建國年度剩餘金の一部を之に繰入れた

◇二年度豫算を前年度に比較すれば其の相異なる點特に顯著なるもの少からざるも就中著るしき點は

イ、豫備金の激減せること

ロ、軍政部費が細分積算された事

ハ、省公署費が分解計上された事

ニ、地方官衙(歲入歲出共)にして豫算の統制を受くるに至つたもの多きこと、殊に熱河省及北滿特別區が豫算の上に現れた事等である、之等は單に豫算として の進步たるに止まらず實に滿洲國自體の安定と發展とを物語るものである、之を要するに大同二年度豫算は眞の意味に於ける滿洲國最初の歲計總豫算たるのみならず民國時代に於て曾て其例を見なかつたものである、特別會計は北滿特區を除き十箇にして其の歲入歲出總計一〇六、九四五、八三四圓にして本年度始めて設けられたるものは北滿特區を除き減債基金、被服廠、吉黑榷運署、國有財產整理資金及郵政の五特別會計である、何れも其の性質上特別會計とするを必要又は適當とするからである

今總豫算の歲入の種類別豫算額を示せば次の如し

歲入

科目	圓
▲經常部	
▽租稅	一〇八、六二九、四四五
關稅	四九、七八一、〇一八
內國稅	三八、一一一、六二七
鹽稅	二〇、七三六、八〇〇
▽專賣利益金	一五、三八六、六四六
專賣公署利益金	九、八二八、二四六
吉黑榷運署利益金	五、〇〇〇、〇〇〇
其他	五五八、四〇〇
▽官產收入其他雜收入	八、一一八、二〇九
經常部合計	一三二、一三四、三〇〇
▲臨時部	
營通	六、六七八、二〇四
由特別會計	三一七、三一〇
公債金	七、〇〇〇、〇〇〇
建國年度剩餘金	三、〇三九、三六四
臨時部合計	一七、〇三四、八七八
總計	一四九、一六九、一七八

卽ち之を元年度に比すれば租稅其他の經常歲入において實に三四、七四八、三〇〇圓を增加してゐる

次に歲出の所管別豫算額を記せば左の如し

歲出

科目	圓
▲經常部	
執政府	一、二〇〇、〇〇〇
總務廳	二〇、三七九、〇五五
興安總署	二、三一九、〇三四
民政部	二二、六四八、〇一九
外交部	一、二〇二、九五〇
軍政部	三七、三三三、三二三
財政部	一二、四一一、七一〇
實業部	一、五二一、五五七
交通部	二、〇〇五、九六八
司法部	五、五九五、八一
文教部	八三一、二七八
經常部合計	一〇七、四四八、七〇八
▲臨時部	
總務廳	一九、二九九、一五七
興安總署	二五、一六七
民政部	一、六三三、五八五
外交部	四二、三三一
軍政部	四、六三三、九八四
財政部	一三、九三三、一八二
實業部	一、八八九、二四〇
交通部	一六五、〇〇〇
司法部	―
文教部	九九、八二四
臨時部合計	四一、七二〇、四七〇
總計	一四九、一六九、一七八

卽ち大同二年度豫算歲出は略日本國の日淸戰爭直後の夫れに當り租稅收入は明治三十二年の夫れを超えてゐる、他列國の最近に於ける豫算に比肩を求むれば瑞西、芬蘭、丁抹、ルクセンブルグ、シヤム等にして而も內容の堅實にして將來の發展を孕めることを誇るに足るものがある

大連商業大勝

大連商業對滿鐵々道工場工作工養成所のラグビー戰は二十三日午後三時二十分より大連運動場に於いて高尾氏主審の下に開始したが十八對零で大商大勝した

大商 (12―0, 6―0) 工作養成所

一部は工大本科 二部は大連一中

全滿學生射擊大會

關東廳主催全滿學生及關東州內生徒聯合射擊大會は秋晴れの快晴に惠まれ二十三日午前十時より旅順陸軍射擊場に於て開催された、參加校旅順工科大學本科、同工科大學豫科、工業專門學校、旅順中學校、大連一中、大連二中、大連商業の七校百八十餘名の盛大なもので、第一的工大、第二的工大豫科と前記の順に並び射程二百米で開始された、この日は又菱刈關東長官が午前中顏を見せ飛び入り射擊をやる等大會氣分は彌が上にも高潮された、かくて午後五時一部は工大本科、二部は大連一中の優勝となり左の成績を殘して第一回大會は盛況裡に閉會した

▲第一部(二十人團體成績) 一等工大本科六〇五點、二等工專五八八點、三等工大豫科五七九點

▲第一部個人成績 一等四四(工專)內田芳夫、二等四三(工豫)三井嘉雄、三等四〇(工本)大石河村泰治、四等三九(工豫)堀勝、五等三九(工本)堀谷良平、六等三九(工本)服田保雄、七等三八(工本)上村大助、八等三七(工專)前田芳巳、九等三七(工豫)原正一、十一等三七(工本)今福猪太郞、十二等三七(工本)若松誠三郞

▲第二部團體成績(二〇人) 一等大一中五九三、二等大二中五七四、三等大商五六一、四等旅中四二三

▲第二部個人成績 一等四二(大二中)早川亨、二等四一(大一中)近藤正、三等四〇(大二中)藤井英地、四等三九(大商)久米精、五等三八(大一中)竹中剛文、六等三七(大二中)石橋豐、七等三七(大一中)杉目昇、八等三七(大一中)末光伸雄、九等三七(大二中)佐藤正秋、十等三七(大一中)荒卷隆、十一等

公衆電話

在金州　被損害生

◇去る二十一日大連に行つた、午後四時頃突然の用事のために電話の要が出來たので伊勢町の公衆電話に入り込み相手の呼出しを願つた、程なく交換手が相手が出たから五錢入れて下さいと云ふ。

◇私は早速に五錢白銅一枚を入れた、その時私はハッと拍子拔けした感が出た、と云ふのは料金を投入すればチンと云ふ音が發するとのみ思うてゐたのが何等の音も出ぬからだ。

◇私は大連の公衆電話は音がせぬのかハイカラに出來てるなあと考へさせられたが、その瞬間交換手の五錢入れて吳れと云ふ又もの催促、私は入れましたが、と云ふと合圖がないから入れて吳れと云ふ、先のハイカラに考へて居た事も消滅して不愉快になつた。

◇交換孃と二、三回繰返して言ひ合つたが相手に接續して吳れぬ、これも忠實に働く交換孃の然らしむるのでもあらうが、その中に受話器の奧の方で何か言うてたのが聞えた、すると今度は確と叩いて見て吳れと言ふ、私は厄介に思ふたが仕方がない、眞面目になつて叩いて見たが何等の事もない。

◇その中に交換孃は引込み何度呼出せど出ない、私は係の者に注意しやうかと思つたが交換孃の出ないのにはどうにもならぬ、工夫でも檢査に來るのかと考へて廿分近くも待つてたがそれらしい人間が現れない、二十分の時間があれば大抵市內は自轉車でもあれば着ける筈なのに、殊に局と伊勢町はどの位あらうか

◇私は貴重な時間と金をこの公衆電話の爲に詐取され用も便ぜず空しく其處を立去らればならなかつた、お蔭樣で十六時五十分の汽車に乘車することも出來なくなり大きな損害を被つた譯である、私一人ならまだしも、この樣な被害を受けた人達は他にもあると思はれる。

◇公衆利便の爲の公衆電話であらればならぬものが逆に公衆の迷惑と詐取を行はしめてゐるこの機械、一刻も早く撤去し完全なものにしなければならぬと思ふ、局には檢査をやる人間が居らぬのだらうか、敢て當局の參考までに。

滿鐵射擊大會

滿鐵運動會射擊部主催の第二回滿鐵射擊大會は二十三日午前九時半より春日池畔大連市民射擊會射場において百六十名の射手參加の下に擧行、興味の中心たる色分け對抗競點射擊は赤組黃組と大接戰の末勝ち、旅順要塞司令官盃並に滿鐵總裁楯を獲得し午後五時盛會裡に終了した成績左の如し

▲色分け對抗競點射擊　一等赤組二四六點、二等黃組二一六點、三等海老茶組二〇八點、四等褐組一八四點、五等綠組一七三點、六等白組一三五點

▲射擊部員競點射擊受賞者　一等滿田勇(三六點)二等佐々木定義(三六點)三等萩原明(三五點)四等秋葉惇(三四點)五等竹內淸藏(三四點)六等廻船正平(三一點)七等財津三男(三一點)八等牧野外茂二(二九點)九等三隅一三(二九點)十等小笠原値藏(二八點)十一等河野茂(二八點)十二等福島佐男見(二七點)十三等三浦小三郞(二七點)十四等町田袈裟雄(二七點)十五等青木源之助(二七點)

▲射擊部員外競點射擊受賞者　一等安田孝三(二九點)

▲學生、靑訓競點射擊受賞者　一等黑田一石(四五點)二等磯崎覺(三九點)三等野本時義(三五點)四等戎屋千代松(三五點)五等浦本一市(二九點)

軟式野球大會

けふ優勝戰

本社後援玉澤運動具店主催の極東軟式野球大會第七日目たる二十三日の準優勝戰は大連一中球場に於いて擧行の結果戰績左の如し

▲Z倶樂部10―5消費組合
▲パラマウントA組3―0TK倶樂部

尙Z倶樂部對パラマウントA組の優勝戰は二十四日午前十時より滿倶球場に於いて擧行する

慶應、帝大勝つ

【東京二十三日發國通】春明治一勝の後をうけた慶明二回戰は廿三日正午より神宮球場、藤田、小林、森、片田四氏審判明治先攻七A對二で慶應勝つ閉戰二時廿八分、バッテリー折井、山脇、柴田、迫畑法帝二回戰三時五十分開戰、森田齋藤、橫澤、伊丹四氏審判、法政先攻結局九A對七で帝大勝つ五時二十六分閉戰バッテリー若林三森、劉、鶴澤

硬球庭球大會

滿洲體育協會の昭和八年度全滿硬球庭球選手權大會シングルス準優勝戰二十三日午後一時半より大連中央公園滿鐵テニスコートに於いて擧行したが戰績左の如し

小寺(大連)6―3, 6―3, 7―5 原(滿洲國)
伊藤(大連)6―3, 田 野田(奉天)

秋季競馬

第一日午後

初日秋季臨時大競馬は午後になつて八分の入り午後の成績左の如し

▲第五競馬(繫駕速九頭)三二〇〇米 1石河(奧田騎手)二分二十三秒四2若宮(七、四二、四馬身)配當單五圓八十錢、複1四圓九十錢2五圓四十錢3八圓二十錢

▲第六競馬(抽古十頭)一八〇〇米 1一白(小川騎手)二分二十七秒一2三百(二分一馬身)3妙見昇(一、二分一馬身)配當單五圓、複1十六圓四十錢2六圓四十錢3十二圓十錢

▲第七競馬(秋抽、甲十頭)一八〇〇米)1光明(岡野騎手)二分三十六秒2伸龍(二分一馬身)3日昇(一、二分一馬身)配當單十六圓四十錢、複1七圓十錢2八圓3五圓四十錢

▲第七競馬(秋抽、乙十頭)一八〇〇米)1七星(內田騎手)二分三十四秒四2具里子(四馬身)3金陵(二分一馬身)配當單五十圓頁馬配當一圓八十錢、複1六圓五十錢2五圓十錢3五圓四十錢

▲第八競馬(各抽、甲十一頭)二〇〇〇米 1赤玉(川合騎手)二分三七秒四2龍(七馬身)3淡月(一馬身)、配當單五圓三十錢、複1四圓七十圓2五圓三十錢3五圓六十錢

▲第八競馬(抽古、乙十頭)二〇〇〇米 1角菱(奧田騎手)二分四十秒一2宇治(一馬身)3那須野(一、二分一馬身)配當單七圓六十錢、複1六圓2六圓三十錢3十三圓八十錢

▲第九競馬(秋抽七頭)二〇〇〇米 1神陽(福島騎手)二分五十秒二2初風(五馬身)3大德(大差)配當單五圓三十錢複1四圓八十錢2六圓三十錢

▲第十競馬(抽古十七頭)一八〇〇米 1五佑(保利騎手)二分二十六秒一2多嘉保(一馬身)3一星(二馬身)配當單四十八圓六十錢、複1十圓八十錢2六圓六十錢3六圓六十錢

▲第十一競馬(抽古十六頭)一六〇〇米 1乙女(門騎手)二分二十八秒四2一姬(二馬身)3島海(二分一馬身)配當單頁馬配當四圓、複1五十圓2十三圓三十錢3五十圓

▲第十二競馬(抽古十二頭)二〇〇〇米 愛飛(二渡騎手)二分四十七秒一2金樂(一馬身)3白龍(首)配當單四十三圓六十錢、複1十二圓三十錢2八圓三十錢3七圓八十錢

▲第十三競馬(秋抽九頭)一六〇〇米 1喇嘉伊(保利騎手)二分二十五秒三2明司(鼻)3一力(鼻)配當單頁馬配當四圓、複1三十四圓二十錢2十三圓3八圓卅錢

大連神社の遙拜式

大連神社の秋季皇靈祭遙拜式はけふ午前十時水野社司以下神職所定の位置につき御影池民政署長、市長代理近藤收入役、氏子總代福田顯四郞氏等參列のもとに修祓、降神、祝詞、玉串捧奠、昇神と嚴肅に執行された

表玉串を奉り拜禮して九時祭典を終つた

けふのスポーツ

◇庭球…▲滿洲體育協會昭和八年度全滿軟球選手權大會シングルス優勝戰及びダブルス準優勝戰、正午より中央公園滿鐵テニスコートで

◇蹴球…▲大連蹴球聯盟秋季リーグ戰第二日目滿鐵對師範同戰午後二時より▲隆華對工華戰午後三時三十分よりそれぐ大連運動場で

◇野球…▲大連新聞社主催の第四回全滿選拔野球大會第二日目大連實業團對滿洲倶樂部戰正午より▲全安東倶樂部對滿洲國倶樂部戰午後二時半よりいづれも實業球場で

◇スポンヂボール…玉澤運動具店主催本社後援の極東軟式野球大會Z倶樂部對パラマウントA組優勝戰午前十時より滿倶球場で

◇滿鐵庭球部臺灣遠征…午前十時出帆の山東丸で

人事

▲富田勇太郞氏(大藏省理財局長)二十四日出帆うすりい丸で歸京

▲緒方十右衞門氏(大阪帝大敎授)二十三日午後七時五十分着列車で來連遼東ホテル投宿

▲小野繁雄氏(奉天省警備司令部顧問部囑託)同上

小觀

馬占山、蘇炳文の爲めに義捐されたた金額は二千萬元に上るといふから相當のものだ▲所が二人の手に入つたのが一割强、一千七百廿餘萬元が行方不明▲何れも抗日を種にして小學生、娼婦、農夫からまで搾り上げたのだが、行方不明の分は黨部員、男學生、女學生、朱慶瀾一味の懷を肥やし酒食の料になつた▲抗日を種の集金と云へば商人から取る日貨檢査會の收入、愛國飛行機を作るとの寄附金、芝居や活動から取る特別稅、臨時家屋稅▲愛國の名でいや應なしに集められて支那階級の懷に入る、抗日はやめられぬわけ▲九月十八日の天津大公報、黑枠付で九・一八記念特刊四頁を出してゐる▲同じく黑枠付で國恥二周記念辭といふ大社說がある▲日本の惡口も書いてゐるが支那自身の智識階級の罪惡のみを說いてゐる▲中國眞正の大患は外に在らずして內に在りとか、民、生を安んぜず、官、民を愛せずして以て國防を言ひ、外侮を禦ぐ可きものあらんやなどの慷慨辭がある。

忠靈塔小祭

忠靈塔秋季小祭は第六師團勇士が凱旋する二十三日午前八時半、祭典委員長たる小川市長を始め御影池民政署長、藤井遞信局長、石井大連警察署長、十河兩滿鐵理事、小林取引所長、市會議員、在鄕軍人、傷兵會員等五十餘氏參列のもとに鈴木神官の如く修祓、降神、祝詞、玉串奉奠と嚴かに執行、次いで參列者代

羅津で急死した素封家に絡む謎
友人の怪行動睨まる

【羅津特電二十三日發】保險金十一萬五千圓を殘し北鮮を訪れたまゝ羅津の一旅館で急死した奈良縣宇智郡の素封家阪上富三郎の遺骨を旅先から死者の郷里に送屆け羅津から姿を消した同縣吉野郡黒瀧村中本重太郎（四三）の行動は深い疑惑の目をもつて見られ奈良縣警察部と咸北道警察署では二十二日以來俄然大活動を開始した

兩名は先月十五日本籍地を旅立つ時中本は阪上より一千圓借用したる事實あり共に打連れて本月十日清津より同行連絡船で羅津に上陸その儘黒皮安物の新しいトランク二個を携へ羅津蝶旅館に投じたが阪上は釜山に上陸した時は歩行困難となり埠頭から旅館に向ふ途中に一度地上に倒れた程で蝶旅館で旅裝を解くやその儘寢込み羅津榮町宮本醫師の治療を受けたるも十三日午後一時急性胃腸カタルで死亡翌十四日死體を火葬に附し遺骨は中本が明日は友引で縁起が惡いので今日中に片付け樣とその日午後七時遺骨を拾ひその夜は縁起直しだと料亭梅の家で朝まで散財し翌十五日供養を受けた曹洞宗布教所應見親道氏名義で阪上氏の郷里に小包で送屆けたもので阪上氏が旅館に病臥中口癖の如く文無しの坂上に寢込まれて弱つたと額をしかめ出來る丈金の掛らぬ様頼むとくれぐれも旅館の主人に依頼してなり羅津を引上げる時は阪上氏の破れた沓下まで綺麗に何一つ殘さずトランクに詰込み旅館代まで一泊一圓に値切つた上十六日午前一時發の新京丸で氏名も田中榮一と僞名し倉皇として清津に向ひその行先を晦ましたものである

生前と死後と姓名が變る
治療した醫師語る

【羅津特電二十三日發】十一萬五千圓に絡まる謎を殘して羅津の一旅館で急死した阪上氏を十日から十三日まで治療した醫師宮本氏は語る

蝶旅館の主人佐藤信義氏の依頼で往診しましたが生前患者は關釜連絡船内で急激な腹痛に襲はれそのまゝ羅津に上陸したといつてゐました、羅津に上陸するまでどんな藥を飲んだかそのへんのところは聞きませんでした診察の結果は體熱三十八度あり下痢が激しかつたので急性腸加答兒と診斷しました、十一日から十二日にかけ大分快方に向つてなりましたが十三日の朝から急に激しくなつたのです、死んだといふ通知があつたので私が死亡診斷書を書きましたが別に病狀死因につき法醫學上あやしいといふ點はないやうだつたと思ひますが死んだ阪上氏は生前私は中本ですといつてゐたが死亡診斷書を書くときに中本が死者は阪上富三郎だといつてきました

怪人物が遊興

【羅津特電二十三日發】獵奇的犯罪の中心人物中本重太郎は阪上氏を火葬に附した十四日の晩八時ごろ料亭梅乃家にあがり藝妓梅千代（二一）を敵娼となし、俺は羅津の信濃屋旅館にとまつてなり、土地買に來たものだと大風呂敷を擴げ翌朝八時まで泊りこんで引揚げたが十三圓二十錢の飲代もケチ〳〵して百圓札を出して支拂つたので梅乃屋の主人はケチなことをいふ客でも百圓札で勘定するところをみると羅津は景氣のよいところだと思つたのみで別にあやしい客だとは氣附かなかつたと語つてゐる

明朗將軍、鐵砲打ち
學生射撃大會飛入りの最高點
旅順の菱刈關東長官

旅順官邸に一夜を明した菱刈長官は、二十三日午前十一時藤原秘書官、巽參謀、今岡副官と共に旅順陸軍射撃場に於ける全滿學生及關東州内生徒聯合射撃大會に趣り先着の日下内務局長、安藤要塞司令官等の出迎へを受け天幕張の休憩場で暫くの間學生の射撃を見てゐたが、十一時五十分頃藤原秘書官、巽參謀の二人が第十的に向つて射撃してゐるのを見付けだし「俺もやつて見やうか」と巽參謀の射撃の終つた次に伏撃の姿勢をとり射撃を始めた、第一回二點、第二回三點、第三回七點第四回八點、第五回六點、計二十六點、巽參謀は十九點、藤原秘書官は十六點の成績で長官の射撃は飛入中の最高點であつた、かくて正午何時もの笑顔で一同の敬禮を受けつゝ黄金臺別邸に引上げたが、別邸では藤原秘書官、巽參謀、今岡副官、鶴見書記官と水入らずで内輪のみの午餐會を催し午後三時過ぎ官邸に引上げた（寫眞は伏勢で射撃する菱刈大將）

仲秋の吉林へ詩情を探る
漢詩家を鄭總理案内

【新京電話】廿一日來京執政を始め菱刈關東軍司令官鄭國務總理その他日滿要人を訪問し挨拶中であつた漢詩家土屋久泰、國分青崖、長尾槇太郎の三氏及び大倉粂重役仁賀保成氏等は二十三日午前八時半發列車で鄭總理の案内を受けて仲秋の吉林視察に向つたが鄭總理の吉林行きも建國後最初のことであり日滿の大詩人相共に攜へて仲秋の吉林を探り詩情を滿たすことは最も美しい日滿親善の機とされてゐる、因に吉林では省長熙洽氏が萬端の準備を整へ歡待するが一行は二十五日歸京の豫定

9—3
滿洲國大勝
新京後半に潰ゆ
全滿選拔野球大會

大連新聞社主催の第四回全滿選拔野球大會第一日目の第三次戰たる滿洲國倶樂部對新京倶樂部戰は二十三日午後三時二十五分より大連實業團球場に於いて山口（球審）田村、杉谷、吉野（壘審）四氏審判滿洲國先攻で開始したが滿洲國軍の追撃効を奏し八回表形勢逆轉し九對三で滿洲國倶樂部快勝した、閉戰五時十分

經過

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
滿洲	0	0	0	1	0	0	0	4	4	9
新京	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3

◇一回　滿洲水原二匍高橋四球に出で二盗なり栗原の二匍に高橋三進したが赤松投匍▼新京杉田三匍藤戸四球中川中飛後藤戸二盗淺香右飛

◇二回　滿洲赤木四球に出で光宗の一線犧バントに送られて二進西村三匍失に生き森川三振松本四球で二死滿壘となつたが水原右飛▼新京小野中飛古賀四球高橋中飛後古賀二、三盗なし田中四球で二盗川田中前單打して古賀、田中を還す川田二、三盗杉田四球藤戸の左前單打に川田還り杉田三進（滿洲赤木右翼に退き水原投手となる）中川遊飛

◇三回　滿洲高橋四球栗原投飛後高橋二盗に死し赤松遊匍▼新京淺香二匍小野遊匍古賀三振の後捕手となり伏見遊撃に入る）古賀三振のとき捕手の一壘惡投に小野二進高橋遊匍

◇四回　滿洲赤木一匍光宗一、二間單打西村三匍失で光宗二進伏見の右飛で二死となつたが光宗三進し松本一、二間に單打して光宗還り西村三進水原二匍▼新京田中左飛川田三匍杉田遊匍

◇五回　滿洲高橋一匍栗原三振赤松四球に出で捕逸に二進したが赤木二匍▼新京藤戸遊匍單打中川バントで送つて藤戸二進淺香遊匍小野二匍

◇六回　滿洲光宗四球西村遊匍し

◇七回　滿洲高橋二飛栗原左飛赤松中飛▼新京杉田遊撃不規則バウンドの單打藤戸左飛中川二匍失で杉田二進淺香の遊匍中川を封殺する間に杉田三進淺香二盗小野四球で二死滿壘となつたが古賀三匍

◇八回　滿洲赤木二匍トンネルに生き光宗三遊間單打して赤木二進西村バントで送つて赤木光宗三二進滿洲軍の好機遂に來る、伏見四球で滿壘松本も四球で赤木を押出し水原右前に直球單打して光宗、伏見を迎へ松本三進更に右翼手この球をファンブルする間に水原二進高橋一匍で二……て光宗を封殺伏見二飛松本四球で西村二進水原左飛▼新京古賀遊撃不規則バウンドの單打し高橋の二匍に二進したが田中の投匍で二、三間に挾まる田中二盗の時捕手惡投して田中三進したが川田一飛

（滿洲）

守	選手	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
9.1	水原	6	0	1	0	0	0	0	3	2	0
7	高橋	3	0	0	0	2	0	2	2	0	0
8	栗原	5	0	0	0	0	2	0	3	0	0
5	赤松	4	1	1	0	0	0	1	1	4	0
1.9	赤木	4	2	1	0	0	0	1	1	0	0
3	光宗	3	3	2	1	1	0	1	12	0	0
4	西村	4	1	1	1	0	0	0	2	3	1
2	森川	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
6	伏見	3	1	0	0	0	0	1	1	4	0
6.2	松本	2	1	1	0	0	0	3	2	0	2
	計	35	9	7	2	3	3	9	27	13	3

（新京）

守	選手	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
3	杉田	4	0	1	0	1	0	1	12	1	0
6	藤戸	4	0	2	0	2	0	1	1	3	0
7	中川	4	0	0	1	0	0	0	2	0	1
8	淺香	4	0	0	0	1	0	0	2	0	0
5	小野	3	0	1	0	0	0	1	0	0	2
2	古賀	2	1	1	0	2	1	1	3	1	1
1	高橋	3	0	0	1	0	0	0	2	1	0
4	田中	3	1	0	0	2	0	1	3	5	1
9	川田	3	1	1	0	2	0	0	2	0	0
	計	31	3	6	2	10	1	5	27	11	5

▲二壘打—古賀1▲球逸—赤木一▲試合時間—一時間四十五分

第一日の戰評

當然の勝敗
實業對撫順戰

大連實業團對全撫順倶樂部戰、前者は春の實滿戰に快勝し後者もまた春の州外優勝チーム、後者もまた春の州外聯盟リーグ戰に快勝した州外の覇者、共に制覇を目指して實業は岩瀬、撫順は成松と主戰投手をマウンドに送つた、然るに撫順軍は東部遠征の疲れとも言ふべきかチーム全體に清新な生氣なく内外野凡失し加ふるに好調の實業打者の適時安打効を奏して遂に撫順軍は零敗を喫した▲戰前春シーズンの實業團州外遠征の成績より推して五分五分の戰ひと觀測した向も多數あつたやうだが全力を集注し然もホーム・グラウンド、その上好調の波に乘る岩瀬主戰投手と好條件ある實業團にとつてはけふの戰ひは寧ろ當然の結果である▲グラウンドにローラーがかゝらず爲めに内野とりわけ遊撃手の活躍意の如くならなかつたことは甚だ氣の毒であつた

守備の失に
奉天滿倶敗退

この戰は結局五回迄でそれ以後は完全にダレ氣味であり平々凡々たる戰をつゞけてしまつた▲小松小島兩君共にこれまでの經歴を見ればラ角初めに調子の狂ふ投手であるがけふの戰でもこの事實を裏書し五回まで全くの混亂狀態で兩投手不出來の裡に戰をつゞけた▲然しけふの奉天軍の敗因は小島投手の責任ではなく是は全く其バックに控へた守備の失によるものと言ふの他あるまい、二回の四點は香川孫兩君の失に初まりこの四點は精神的にも肉體的にも完全に小島投手を疲勞せしめ四回奉天は孫君の二壘打で一點を勝越しこれを境として小島君の調子も恢復するかと見えたがそれも空しく濱崎君の快打で遂に勝利の運に見放されるのほかなかつた▲滿倶は三、四、五番が振はず下位と一、二番の當りで漸く勝つたが決して成績は滿足のものでなく奉天が外野守備の位置を相手打者の得意な研究することによつてもつと適宜に變化せしめてゐたならば戰は全く白熱化したであらう▲奉天追撃の機を失した責は五回バントを失し更に惡球を振つて三振に退いた針原君と引きつゞき二死後その鈍走のために二匍で死んだ大日方君が負ふべきで小島投手はインサイドワークに一層の練磨を積めば第一人者の尊稱を與へらるべき投手であらう

▲大連滿倶對奉天滿倶戰個人成績表

（大連滿倶）

守	選手	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
9	栗原	5	1	2	0	1	0	0	1	0	0
7	濱崎	4	0	1	1	0	0	0	2	0	0
3	山下	3	0	0	0	0	0	2	8	0	0
2	片岡	5	0	0	0	0	1	0	7	1	1
6	杉谷	4	0	0	0	0	0	1	0	1	2
8	高須	4	1	1	0	0	1	1	5	0	0
4	永澤	5	2	1	0	0	1	0	2	2	0
1	小松	5	1	2	0	0	1	0	0	1	0
5	小池	4	3	2	0	0	0	1	2	3	0
	計	39	8	9	1	1	4	5	27	8	3

（奉天滿倶）

守	選手	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
7	香川	3	2	1	0	0	0	2	3	0	1
6	村上	5	0	0	0	0	1	0	1	7	1
2	孫	4	0	2	0	0	1	1	4	1	1
1	小島	5	0	1	0	0	1	0	1	3	0
9	田村	4	0	0	0	0	0	1	4	0	0
3	大橋	5	0	2	0	0	1	0	12	0	0
8	針原	5	1	0	0	0	1	0	2	0	0
4	藤濱	4	2	3	0	0	1	0	0	2	1
5	大日方	3	1	0	0	0	0	1	0	2	1
	計	38	6	9	0	0	6	5	27	15	5

▲二壘打孫一、大橋一、濱崎一、小池一▲捕逸片岡一▲試合時間二時間十五分

水原の好投
水原のヒット

新京で數度の顏を合せた兩軍は共に負けられないけふの試合に必死の覺悟で立ちプレヤー自身は戰前既に殺氣立つてゐた、赤木君は明治時代から出來不出來の甚だしい投手でけふも滿洲國ファンはその好調を祈つたがコントロール惡く二回早くもノックアウトされてしまつた▲赤木君に代る水原君は器用さ頭さだけで投げてゐる投手でありけふも落ち氣味のストレートをアウトコーナー低目の申し分ないポイントにドン〳〵と投げ込んで成功したがこの球に一工夫出來なかつた新京の打力には全く感心が出來なかつた▲高橋君は昨年に比べれば數段の進歩を遂げ落着いた態度で極め球こそないが同じモーションでプレートで浮く球とインコーナーにシュートして落ちて來る球を巧みに使ひ分けて滿洲國打者を凡打に打止めそのまゝに押切るかと思はれたが八回遂にコントロールを失ひその球に漸く馴れた滿洲國側打者に八九回を快打され無念の涙を呑んだのには同情に値する▲八回伏見君に與へた四球が致命傷で、水原君にタイムリーヒットされたのはこの際高橋君の投球を責めるよりもむしろ早大時代のファストバッター水原君の眞價が發揮されたものと見るのが至當である▲さるにても新京軍は二點を入れて後勝利を確信した爲か餘りにゲームを無雜作に進めすぎはしなかつたらうか、水原君への打撃の研究をやらなかつたことがその一つであり、六、七回の如きは當然第一走者をバントで送るべきを怠つたことがその二で、これもまた新京敗因の一つに數へるべきであらう

海外の徴兵檢査受檢希望者心得

【東京二十三日發國通】海外において徴兵檢査を受ける者に關しての度陸軍、拓務、外務三省で協議の結果二十二日左の如く決定した、海外の受檢希望者は毎年三月三十一日（從來は二月末日）迄に左の系統で願ひ出ること
朝鮮各地警察署臺灣廳長附屬地警察署長、その他滿洲國、天津濟南、青島、上海、漢口、厦門は各總領事領事分館主任者、領事出張所主任者、四月以降の願出は受檢希望者の本籍地で行はれる徴兵檢査期日より一ケ月以前に願出る必要がある、しかも特別の手續きを必要とするから三月末日迄には願出る事、四月以降の願出には管轄の都合で許可せぬ場合もある海外の檢査は五月中旬頃から六月一杯に行ふ豫定で各事項は四月下旬一杯に公布される

青訓野外演習

大廣場青年訓練所では秋晴れの二十三日午前七時半から淩水寺附近を中心に野外演習を擧行、一名の落伍者もなく午後五時半歸所した

英伊軍艦來港

英國軍艦カンバーランド號は來る二十六日大連入港十月二日出港、伊國軍艦カボツト號は十月十六日入港同二十四日出港の筈

瓜生警部官舍の泥棒捕はる

小崗子署司法係では二十二日夜長崎縣生れ住所不定中島弘（二〇）を留置取調中であるが右は去る四月末警部の播磨町官舍に忍び入りモーゼル拳銃（私物）及び寫眞機一臺を窃取逃走したが、後で警部の所有品であることを知り後の祟りを恐れて電園内草原に拳銃と寫眞機を棄てたことを自白し更に全市に亘り二十數軒に上る窃盗事件を重ねてゐる旨を自供した

奉山線襲撃の匪賊團判明
清鄕、双龍、吉黒の一味

【奉天電話】二十三日奉山線で列車を襲撃して輸送中の十二萬圓を掠奪した匪賊團は當時追跡隊によつて右大腿部に盲貫銃創を受け逮捕された匪首清鄕の副頭目八河を嚴重取調べの結果、前記清鄕の外双龍、吉黒の三匪首合流の約六十名で一味は去る十四日黒山縣第五區の根據地において該列車襲撃の打合せをなしその機を窺ひ愈々當日は午前二時頃現場に於て双龍、清鄕が線路を破壞し吉黒が襲撃と各々分擔をなして襲撃準備を整へて列車の進行し來るを見るや匪首双龍自ら赤旗を振り列車を止め一齊に列車目がけて火蓋を切つたもので目的を達するや直に根據地の密林中に入り込み同所で掠奪金品の分配中追跡の自警團の急襲を受け四散したがその際八河は前記の如く負傷し遂に捕へられたもので兩匪首は今なほ同地附近に潛伏して居る模樣で目下警戒中である

五・一五事件の民間側公判
二十六日から開廷

【東京二十三日發國通】五・一五民間側被告公判は二十六日開廷と決定、東京地方裁判所藤井裁判長係り愛鄕塾の橘孝三郎を筆頭として開廷、場合に依つて幇助罪として大川周明、本間憲一郎、頭山秀三は分離す、橘は農村問題の蘊蓄を傾倒すると見られて注目される

大連署にルンペン轉げ込む

二十三日午後四時ごろ見すぼらしい背廣服のルンペン風の男が大連署に出頭し「水、水、水を吳れ」と氣ぜはしく叫ぶので係官が水を與へるとうまさうに飲み干してから煙草に火をつけ二、三服すつたと思ふ間に、ばつたりとその場に昏倒したので大騷ぎとなり手當の結果、意識を取り戻したが、何を聞いても一言も發せず、落ちくぼんだ不氣味な瞳をギロ〳〵させるばかりで要領を得ず、洋服のポケットから現れた聖愛醫院の施療診察券によつて、宮城縣生れ市内德政街十五番地菅原金臣（三）と判明したが、結局食ふに困つた揚句、警察に轉げ込み狂言じみた動作で救濟を受けようとしてゐるらしく同署でもその處置に持て餘してゐる

飯田輝壽氏無事歸還

【ハルビン二十二日發國通】本月十二日の國際運輸會社經營五常行きバス遭難事件は邦人二名滿人八名、露人二名、計十二名の人質を匪賊のために拉致されて人心を寒からしめたが、拉致された邦人中長谷川組監督飯田輝壽氏のみは辛うじて賊の虎口を脱して無事歸來したことが判明したが、右事件直後同じく匪手より逃れたと傳へられてゐた北村一夫氏は今なほ匪賊の許に抑留され依然二倉甸子に監禁されてゐることが確實となり當局はやつきとなつて目下同氏救出に努めてゐる

西市場總會

大連西市場では二十二日午後一時より總會を開き當期業務及び事務報告あり昨年度收支決算を報告して本年度豫算の承認を終り左の如く正副組合長及び評議員の改選を行つた
組合長大久保正登△副組合長池田正之助△同劉學山

第六師團歡迎會

熊本縣人會主催の第六師團歡迎會は二十四日午後六時より滿鐵社員倶樂部において開催豫定のところ市主催の歡迎會とぶつかる爲め同四時半開催に繰上げられた

野崎昇治氏

大連商業學校教諭野崎昇治氏は肺を病び自宅にて療養中のところ二十三日午前十一時十九分死去した葬儀は二十四日途中行列を廢し午後四時より常安寺において行ふ

奧村氏歡迎會

四十年間ハワイの精神界に活躍せる牧師奧村多喜衛氏の歡迎會は二十四日午後五時より青年會館において行はれると

安樂椅子

二十三日着連した第六師團の凱旋將軍松田少將の鼻下左右、端から端まで八寸にも餘る髯は實に立派なものだ。

◇

髯の長岡將軍亡き後我が陸軍將星中唯一の衣鉢を繼ぐ美髯だが松田少將に聽くと、これは聯隊長だ、といふのは松田少將が聯隊長になつた時昭和四年「新兵でも直ぐ顏を覺えられる便利のために」蓄へられたものだ。

◇

「若い士官や兵と共に生活する聯隊長はいつも若々しく元氣を見せねばならん、それでわしは毎日曜に髯の白毛を抜くと毎日椿油で梳ることを日課にしてゐた、それと兵の前では眼鏡をかけんことにしてゐたのぢや」と語る將軍も今度の熱河長城戰で髯の手入も出來ず加へて重なる困苦に漆黒の美髯もすつかり斑白となり「イヤこんなに白くなりよつたわい」と松田將軍長髯を撫つて慨然たるものがあつた（寫眞は松田將軍の美髯）

父息野崎昇治儀兼て病氣中の處廿三日午前十一時十九分自宅に於て死去致候間生前辱知各位に謹告仕候追て葬儀は本日午後四時於常安寺相營可申候途中行列を廢し

九月二十四日

男　菊次郎
父　榮一郎
親戚總代　大野孝之介
　　　　　打本兵三郎
友人總代　長尾宗次
　　　　　中村　仁

滿日各地版

武勳輝く第六師團 晴れの凱旋
廿二日奉天驛の歡迎

【奉天】輝かしき幾多の殊勳を殘して內地は熊本に凱旋する坂本第六師團の精兵は廿二日午後二時卅四分の奉山線列車で○兵第○○隊○部同四時二十五分着列車で○兵第○○○司令部○○兵第○○隊の一部奉天に到着市民多數の出迎へを受け忠靈塔に參拜、市中見學の上中學校、千代田小學校に入り市民代表の茶菓の接待を受け同夜九時發列車で多數市民に送られ萬歲聲裡に離奉大連經由凱旋の途についた、二十三日は午後二時三十四分着の列車で○兵第○○聯隊の一部、同四時二十四分の列車では○○兵第○○隊○部の各部隊が着奉同夜離奉、二十五日は午後四時二十四分の列車で○○第○○○○隊○部、○○○隊の各部隊が凱旋する筈

橫から覗く 伸び行く大奉天
奇現象質屋は減少

【奉天】滿洲事變以來グン／＼伸びて行く大奉天……內地その他から憧れの滿洲を目指して渡滿する人々、大小の企業家等で奉天も一ケ月七百名といふ人口の增加で之と共に建設に擴張に各種事業も急速な進展振りを示してゐるが其羅針盤である奉天署保安係の統計に現れた各種業別に擧げて見ると左の如き興味ある現象を表してゐる

先づ最も發展振りを見せてゐるのは何と云つても飲食店、宿屋で事變前は飲食店百六十三軒が本年八月末現在調查で二百八十五軒、宿屋は卅七軒から八十六軒に增し又滿人の馬車業、人力車業者が激增し乘合馬車業者は事變前の二百六十八名が本年八月末千三百六十八名に又人力車營業者は四百九十七名が三千九百九十五名といふ增加振りであるその他增加したるは印刷業者は十一名增して卅四名、印刷製造業者は二十三名、石油販賣業二十一、下宿屋三十一、料理店五十二、遊戲場三十九で料理店飲食店の增加と共に藝酌婦、女給等も殖え藝妓は現在二百六十名、酌婦は百卅九名、雇婦女は七百八十七名に達してゐる一方この驚くべき發展をなしつゝある裏面には質店、洗濯屋の如きは漸次減少といふ奇現象を呈してゐるが、全體に於て滿洲事變前各種營業者は三千八百五十一名から九千四百八十二名に及びこの二年間に約三倍增加といふ素晴しい景氣である

奉天に凱旋した第六師團

日滿文化美術協會排擊

【奉天】美術シーズンの秋となり奉天にも各種美術展覽會が計畫されてゐるがなかでも最近日滿兩國文化の提携に資すべく政界名士の贊助を得て東京において組織された日滿文化美術協會なるものが近く滿洲において日滿美術工藝品聯合展覽會を開催すると言はれてゐるが右は權威ある協會ではなく在京畫商の團體であつて賣名的になされるものであることが判明したので在滿各要人人士間に排擊されてゐる

撫順地委戰 果然活況

【撫順】撫順の地委戰は既報の如く十七名の定員のうち僅か十名立候補したのみで、依然日和見態度をとつてゐたが二十一日に至り新進の瀨田修逸氏をはじめ萩野萬次郎、飛島井清次郎、河瀨留一の四氏が立候補を宣し果然活況を呈して來た、炭礦側は既に立候補を宣した七氏を以て大體打ち切りと見られてゐるが、なほ老虎臺、龍鳳工事等に地盤が空いてゐるので、この方面よりの立候補があれば全局面に重大な影響を免れない、なほこゝ數日中に數名を加へ戰ひは愈々本舞臺に入るものと觀られてゐる

滿洲國の指紋法 施設に着手
奉天警務廳に指紋班

【奉天】犯罪防止策として滿洲國においても指紋法を實施することゝなり新京警務司では全國的に統一壁を定め之が實施準備中であつたが、今回その具體的方法が決定したので先づ滿洲國の主要都市である新京、ハルビン、奉天において實施の運びとなつた、之がため奉天警務廳にも指紋班が新に設置され新京より竹野正道氏が二十二日着任準備を整へて愈々實行に着手することゝなつたが、この指紋法は滿洲國にとつては極めて必要で且つ容易ならぬものがあるので滿洲局當局でも非常な愼重態度で實施を進め行く／＼は之を以て警務機關の機能を遺憾なく發揮せしめる意氣込みでその成行きは大いに期待されてゐる

撫順の小火

【撫順】二十一日午後六時三十分頃撫順市內永安大街二六番地菓子業鷹瀨事輿川善太郎方二階より白煙が捲き上がつたので、ソレ火事とばかり急報により消防隊より出動したが別に異狀なく直に引き返した、取調べの結果センベイ燒鍋の火力が強すぎそばにあつた新聞紙に燃え移つたものと判明、ホンのボヤ騷ぎであつた

商業實習所生 見學販賣旅行

【營口】營口商業實習所長は平素より生きた學問の傾注に渾身の力を入れ所規の目的を達成せんと努力してゐるが今回又復同所生徒の見學及販賣旅行を計畫し、第一部生十二名を中野指導員附添ひ二十四日營口を發して奉天、新京、吉林、ハルビン、チチハル、昂々溪等に又第二部生八名は野元指導員附添ひ同じく二十四日營口を發し奉天、新京、吉林、ハルビン、公主嶺等を經て十月三日何れも歸營すると

奉天に強盜

【奉天】二十一日午後九時半ごろ商埠地三經路王韓路煙草商鈴木喜三次方に二人組滿人拳銃強盜押入り一名は日本語をもつて家人を脅迫し大洋三十餘圓を強奪逃走した急報により日滿當局では直に非常線を張つたが犯人は未だ逮捕するに至らなかつた

二日續きの休日で 清遊地旅順の賑ひ
秋冷、流石太公望の天下

【旅順】清涼掬すべき二十三日の祭日と日曜を隣にした二日間の公休日は月給取りの都市旅順として絕好の郊外日だけに行樂のプランで皆それ／＼の思惑があるか今を盛りの釣魚黨も例年に無いチヌの來遊で實に千載一遇であり祭日の釣魚は遠慮されたいといふマダムの故障で案外此方面は振はぬかも知れぬ、然し二十四日の日曜は前日の家庭奉仕でスッカリ解放された太公望は陸に船に殺到する模樣で百餘隻の釣船と餌の豫約で商賣人より釣人が大騷ぎの珍現象を呈してゐる、祭日の郊外行樂は野薊秋草燃ゆる戰跡に名殘留めぬ海邊のピクニックは旅順が有する特有の清遊境で右兩日間の自動車馬車は先づ以て拂底を告げる事であらう

電報料引下 遼陽乘出す

【遼陽】遼陽實業會では電報料問題に付愼重な態度をもつて居たが二十二日の評議員會で協議の結果特產物商の如き從來に比し三割乃至四割の値上げとなる高木、林兩商店の如き年額二千數百圓も多く仕拂はねばならぬ事になり滿洲國人特產商の打擊も相當甚大なることが二十日兩國特產商會見の結果判明したので愈々引下運動を開始することになつたと

得利寺で 男女射擊練習

【瓦房店】得利寺附屬地の治安維持は在住民一致團結男女一丸となつて一朝有事の際第一線に立たねばならぬ、それには射擊術の訓練が肝要なので竹澤驛長、佐藤助役、久山巡査、笠原、小幡、池田の諸氏發起となり二十二日午前十時より得利寺守備隊射擊場に於て秋期射擊會を開催した所、我も／＼と參加在鄉軍人の懇切な指導下に距離二百米伏射、發射彈五發、轟く銃聲天を壓したが處女射擊としては非常に成績良好で射擊訓練、心身の鍛錬上意義深く效果も多大であつた、因に左記十名の優秀者に賞品を授與した

一等 竹澤驛長　二等 西藤
三等 小幡　四等 池田
五等 三池　六等 宮本
七等 松井　八等 泉
九等 松島　十等 武井

正義團一周年

【奉天】大滿洲國正義團では二十五日午後二時から小河沿で第六回入團宣誓式と正義大神一周年祭を擧行するが現在新舊團員は約一萬人に達し昨年九月創立してより滿一ケ年間に奉天、新京を中心として吉林、黑龍其他主要地三十數ケ所の支部を有し約四萬の團員を包擁するに至り十月一日には吉林で入團式を擧行すると

奉天の火事

【奉天】二十一日午後八時ごろ城內小西門裡路南雜貨商永盛記方より出火、日滿消防隊急行し消火に努め同十時同家外二棟を燒いて鎭火したが附近には日本料理店その他あり城內目拔きの場所とて一時はなか／＼の騷ぎであつた、原因損害目下取調中

ダイヤ改正 安奉線無關係

【安東】十月一日から滿鐵本線はダイヤの大改正を行ふが安奉線には全く無關係で現在の運輸時刻に變更は無い

庭球選手出發

【撫順】全滿代表庭球選手として臺灣に遠征する撫順庭球部員田寺夫、石井平藏、中野留吉、宍戶薰の四選手並に監督西尾時雄氏等は二十二日午後六時三十五分撫順を出發し、二十四日大連出帆の汽船で臺灣に向ふと

旅順放送

▲星子前關東廳保安課長は二十二日來旅關東廳を訪問したので廳員法院關係者一同は正午ヤマトホテルに於て午餐を共にした▲新任關東軍經理部旅順派出所勤務となつた陸軍三等主計正關口信氏は二十二日着任各方面を訪挨拶を述べた▲朝日町二ノ一七矢澤四郞氏方では八日長男滿順君が出生▲松村町三〇尾崎一雄氏方では七日長男亨君が同上▲朝日町二ノ一一山田恒雄氏方では十六日長女和子さんが同上▲桃園町八幡山善七氏方では十六日四女節子さんが同上

遼陽片々

▲電報料問題は遼陽でも相當影響があり林、高木兩商店のみでも一軒年額千數百圓多く拂はねばならぬと官業が民營になり獨占的に儲ける制度は改善でなく改惡だとの話は尤もに聞える▲地方委員に滿鐵側から山本保線區長、若林實習所長、小野驛助役が出馬と決定したと町から青山君の外誰樣が出るかしら▲中村電燈支配人は業務多忙で出馬見合せと無理のない話、村を更生さすべく努力するには實業會長と云ふ肩書でもやれるんだもの▲弓長嶺運礦線も愈々滿洲國から敷設許可があつたと十月から着工して本年末には開通さすべくスピードで施工すと聞く▲佐賀縣敎育視察團一行十一名は二十四日朝來遼するので在遼同縣人會では歡迎や案內の準備中である▲高岡棉廠は創業記念として金三百圓を實業會の基金に寄附したと▲軟式野球實滿第三回戰は二十二日午後四時から白塔グラウンドで開催五對一で實業快勝、第四回戰は廿四日にやると

二年前を顧みて(五) 實戰參加勇士の手記

此の一篇は九・一八日、恰も週番司令たりし人の手記である。

永嶺大尉

滿洲事變の起りました九月十八日當夜、私は奉天守備隊の週番司令の勤務に服して居りました、丁度忘れもせぬそれは金曜日でありまして、明日は愈々週番勤務も明けるといふので、夕食後永らく週番士官と雜談に耽りまして、午後八時には點呼を致しました。人員其他何の變りもなく、午後九時には消燈でありました。

◇

かくて九月十八日の一日も何の變つた事もなく兵員一同全部寢に就き風紀衞兵のみ默々として守備隊の周圍を警備致して居りました

私は消燈後の營內巡察を終りまして、何等の異狀なきを認めまして、午後十時過ぎやつと寢に就いたばかりで慌たゞしく週番副官が私の室に參りまして柳條溝からの至急電話といふとでした私は大急ぎで電話室に飛び込みまして、受話器をとると次の報告であります。「只今北大營附近の吾鐵道線路を爆破し、柳條溝の分遣隊に向ひ攻擊し來り、我巡察兵と交戰中」とのことでありました。

◇

私は始めどうしてもそれが本當とは思はれませんでした、多分日支の風雲急なるの時で上官に於て何か非常呼集の演習をやられる想定と思つたのであります。何度も「それはほんとうか、演習だらう」と問ひ合せましたが「いや本當です、もう戰鬪中です」と如何にも眞劍味を帶びた聲であつたのです。そう云へば、如何にも受話器を通して實彈をうつ音や、兵の叱咤怒號する聲、慌しい戰場の騷音迄が聞える樣な氣がしたのであります。

そこで私は「これは偉い大變な事が起つた、もうぐづ／＼して居る時ではない」と思ひましてすぐ樣大隊全員に非常呼集を命じ且つ撫順守備隊にすぐ奉天に向つて出動準備を通知し、且つこれを大隊長島本中佐殿に報告電話したのであります。大隊長殿も全く寢耳に水といふ樣な所で、再三私に對して「それは何だ、演習か何か」と問ひ返されたのを記憶して居ます。

◇

次で電話を以て特務機關や守備隊司令部を始め、駐剳隊、在鄉軍人、警察等主なる所へ電話當番全部を動員して、この非常を傳へさせました。

その騷々しさ忙しさ一通りではありませんでした、又奉天驛には何でもよいから臨時列車をすぐ樣公和橋の下に準備する樣に請求したのであります。

◇

風紀衞兵の吹き鳴らす非常喇叭の號音は九月十八日肌寒い夜の空氣を破つて奉天守備隊の營庭に響きました。この非常喇叭の號音こそかの震天動地の滿洲事變の開始を告ぐる初めての警報であつたのであります。

◇

やつと眠りに就いて靜かになつたばかりの守備隊は急に忙しくなりました、兵舍にはパツと電燈がつく、不寢番があわたゞしく兵員を起す聲で各中隊より集まる命令受領者の驅て來る音、右往左往する提灯や懷中電燈の光。營外將校官舍に飛んで行く非常傳令、全く眼の廻る樣な忙しき活動であります。

◇

が、日頃の訓練の結果でありませうか一糸亂れず暗黑の中に各人は各々持場に就き、午後十時四十分頃には早營庭には各中隊の整列が終り又營外官舍の將校も次々と武裝嚴々しく集まつて參りましたかくて十一時には大隊全員勵しの兵舍に訣別して列車乘場たる公和橋の下に一路急進したのであります。

日曜附錄

まんにち

五十音ウタ　横井福二郎

アイウエオ……ツキサマ　キレイダソ
カキクケコ……シヤ　ハ　ヲドラウヨ
サシスセソ……レソレ　ミンナコイ
タチツテト……ントコ　ヤレコラサ
ナニヌネノ……ノサマ　ニコニコダ
ハヒフヘホ……レサ　ノ　ヨイヨイヨイ
マミムメモ……ツト　モツト　ゲンキヨク
ヤイユエヨ……ドウシ　ヲドラウヨ
ラリルレロ……ン　ロン　ピヨンピヨコリン
ワヰウヱヲ……ドレヤ　ソレヲドレ

童話　湖の鐘　まゆみ

信作はみなし兒であつた。

五つの時父を失ひ、つゞいて母が亡くなつたので、貧しい信作とその妹は別れ別れに貰はれて行くことになつた。

信作が貰はれた先は、田舍の小さな禪寺で、年老つた和尚さんが一人ゐるきりだつた。

信作は貰はれた日から忙しい仕事をいひつけられた。朝はにはとりよりも早く起きて、拭き掃除やら御飯ごしらへをやらされた。どんな冬の寒い朝でも怠ることを許されなかつた。和尚さんは「それが修行なんだ。人間は若い時に苦勞しておかぬと偉くなれないよ」といつた。

信作は仕事の辛い時、いつも優しかつたお母さんを思ひ出した。

仕事の中でも一番苦しいのは朝晩きまつた時刻に鐘をならすことだつた。

時間がくると、何をおいても鐘樓へかけ登らなければならなかつた。此處へくると、村全體を見下すことが出來た。藁ぶきの屋根の間から、ちらちら湖も見えた。

信作が村へ來てからもう三年になるが、一番仲よしになつたのは清太爺さんだつた。

この爺さんは一人ぼつちだつたから、信作に同情して、自分の子のやうに可愛がつてくれた。

或日清太爺さんは、鐘樓のそばの百日紅の幹にもたれて、次のやうな湖の傳説を語つてきかせた。

「昔この村にどこからか美しい女が流れて來て、或人の妻になつた。夫婦の間に子供が一人あつて何不自由なく暮してゐたのだが、不思議なことに妻は入浴の姿を見てはいけません。大變なことがあつても見てはいけません」と云つてゐた。夫はその約束を守つて來たのだつたが或日ふと、いたづら半分に覗いてしまつた。

妻は大變怒り悲しみ、

「秘密を見られた上はもはや一緒に暮すわけには參りません」

といつて、たちまち湖に身をおどらせて飛び込んでしまつた。

夫は後悔したがおそかつた。母を失つた子供は、夜も晝も泣きつゞけて父親を困らせるので、父は困り果て湖のそばへ來て

「どうぞ後生だからこの子の泣くのをとめてください」

とたのむと、湖の中から蛇體になつた母があらはれて

「では、これをおもちやにして下さい」

といつて、自分の片方の眼玉をくりぬいて與へた。子供はそれを持つと泣き止んだが、いつかなくしてしまふと又泣き出したので、母は再びもう一方の眼をくりぬいて與へた。

そして

「自分は兩眼をなくして今日より盲になつた。目が見えなくては何の樂しみもない。せめて朝夕は寺の鐘をならして聞かせてくれますやうに」

といつた。それからといふもの、この村では朝夕の鐘をつくことを怠つたことがないのだ。信作、お前はその仕事を立派にやつてゐてくれるのだ。どうかこれからもたのむよ」といつた。

清太爺さんの話を聞いてから信作は鐘をつくことがやり甲斐のある仕事に思へてきてうれしかつた。今でも湖の底深く生きてゐると云ひつたへてゐる蛇體の母が自分のつく鐘をじつと聞いてゐるのだと思ふと、一生懸命になれた。

そして自分の母も、きつとどこかの空から、自分の打つ鐘をきいてゐてくれるやうな氣がした。

信作は湖の母と、空の母とに、朝夕の挨拶をするつもりで力一ぱい鐘を打鳴らした。

どんなに悲しい時でも鐘樓へ登ると忘れられる樣な氣がした。

信作のつく鐘の音は、朝は村人に希望と元氣を湧き立たせ、夕は平和と祈りの心とを起させてくれた。

童謠マンガ　タヌキトキツネ

(ヒダリカラミギヘ ヨミナガラミテイツテクダサイ)

アカルイ月ノ山ノヨコ　タヌキ和尚サンバケタトサ　キツネ小僧サンバケタトサ

ホソイ山ミチマガリカド　二人ハバツタリデアツタトサ　ピカピカコバンハ和尚サン

ホカホカボタモチ小僧サン　二人ハカヘツコシマシタトサ　ペロリトンタダス和尚サン

ダンゴヨクヨクシラベテミタラ　ダンゴ石コロニハヤガハリ　コチラ小僧サンニコニコガホ

コバンヨクヨクシラベテミタラ　コバン木ノハニハヤガハリ　月ヨノ山ノハナシダトサ。

こどもの考へ物　第六十五回

お父さまたちのネクタイか　それでなければ……

寫眞をよくごらんください。すまし顔したこの人のネクタイがちよつとおかしいですね、ほんとうにネクタイをしてゐるのでせうか。

わかつたら來る九月一日までにハガキで大連市東公園町滿洲日報社内「滿日日曜附錄係」あてにお答へください。正解者にはいつものやうに二十名に限りご褒美を差しあげます。

第六十三回の答　ペンギン鳥

第六十三回の考へものはペンギン鳥でした。なかなか皆さんは考へることが上手で、何を出してもあてるので新聞社のをぢさんたちは大こまりです。籤をひいて今度は次の方々にご褒美をあげることにしました。

當籤者

▲大連竹澤英郎▲同平澤小夜子▲同久志本▲同增山正直▲同河野滋▲同立山常子▲同岡村正義▲同宮本幸子▲同井口信之▲同大西清子▲同祇綿睦生▲同山口泉▲同宮本福夫▲安東山賀正道▲下馬塘下田勳▲他山堀越玉枝▲奉天岩崎正夫▲金州疋田實▲瓦房店吉田千賀子▲新京加藤治巳

なほ當籤者で大連市内の方には新聞社から當籤通知のハガキをあげますから、それと引きかへに本社でご褒美をお受けとりください。沿線の方には直接お送りしますからそれをたのしみにおまちください。

小學六年生の力試し室

お答は來週出します

國語

(一)次の文を讀んで、後の問に答へなさい、

夕食をすましてから緣がはへ出て涼む。父は空をながめて

「大層天氣がおだやかになつたね。二百十日もこれで無事にすんだ」

と團扇を使ひながら言つた。すると弟が

「おとうさん、二百十日は立春から二百十日目に當るのですね」

と言つて、日數を數へてみやうとした。

(問)
(1)緣がはへ出て涼んだのは誰々ですか。
(2)此の文の季節はいつですか。
(3)父はなぜ安心したのでせうか。
(4)立春といふのは何のことですか。
(5)二百十日とは、どんな月ですか。

(二)次の文を讀んで問に答へなさい。

或時近邊の人からワシントン傳を借りたことがある。リンカーンはかねがね此の偉人を非常にしたつてゐたので、鬼の首でも取つた氣になつて一心に讀續けた。晝の仕事の合間に讀むのは勿論、夜は床に就いてから燈が盡きるまで讀む。燈が盡きると翌朝すぐ手に取れるやうに、まくらもとの壁際に置く、ところが或夜、夜中に激しい雨が降つたことがある。リンカーンがふと目を覺した時はもう遲かつた。壁のすき間をもつた雨のために本がすつかりぬれてゐたので子供心にも大變心配して其の晩はさうさう眠れなかつた。翌朝貸してくれた人の家に行つて事情を述べ

「辨償することが出來ませんから、其の代りに何か仕事をさせて下さい」

と願つた。其の人は別にとがめもせず、願に任せて三日間畠の草をとらせ、さうして本はそのまゝリンカーンにやつた。リンカーンは其の本をていねいに乾かして其の後何度も何度も讀返してゐるうちに此の偉人の品性に深く感化された。

(問)
(1)ワシントン傳を借りた時のリンカーンの心持はどんなであつたか。
(2)リンカーンはどんなにして讀書しましたか。
(3)草取を三日間したとあるが、どうしてそんな事をしたのか。
(4)リンカーンにとつて、ワシントン傳は、どんな爲になつたか。
(5)これを讀んでリンカーンのどんな點がえらいと思ふか。
(6)次の文字はこの文の何を指してゐるか。
(イ)「此の偉人」の「此の」
(ロ)「其の晩」の「其の」
(ハ)「其の代りに」の「其の」
(ニ)「其の人は」の「其の」
(ホ)「其のまゝ」の「其の」
(ヘ)「其の本を」の「其の」
(ト)「其の後」の「其の」

(三)次の文字を使つて熟語を二つづゝ作れ、
泳、寶、統、雜、優

(四)次の言葉を使つて短文を作りなさい。
(イ)たまもの。
(ロ)かひがひしく。
(ハ)便宜上。
(ニ)力を得て。
(ホ)瞬間。

(五)次の言葉を組合せて一文としなさい。
(イ)忠實に働くと共に
(ロ)勉強を續けた
(ハ)父の手助けをして
(ニ)リンカーンは
(ホ)努力とをもつて
(ヘ)非常な熱心さ

前週の答　算術

(1)イ.0.024　ロ.0.098
(2)イ. 40%　ロ.3割2分
(3)80人÷250人=0.32
答 志願者の3割2分だけ入學出來ます。
(4)

元高	歩合	歩合高	合計高	差引高
12圓	0.36	4.32圓		
8.4圓	0.25		[illegible]圓	
100	0.35		135	
[illegible]圓	0.25			42圓

(5)1−0.8=0.2
400人×0.2=80人
答 試驗をして入れるのは80人です。
(6)708人÷0.48=1475人
1−0.48=0.52
1475人×0.52=767人
答 男は767人です
(7)5圓×(1+0.15)=5.75圓
答 5圓75錢に賣りました

犬いぢめ　三ケ月そとへ出てならぬ

イギリスほどせがいでいきものをかはいがるところはありません。ついこのあひだウイリアム・シエフエリスといふ人は自分のかひ犬をいぢめたといふので、三ケ月そとへはでていけないといふことをさいばんしよからいひわたされました。この人はいきものをころすのがしやうばいだつたから、いきものにはなさけがなくてロクロクたべものもやらないから、すつかりやせてしまつたのだらうとさいばんかんはいつたさうです。私たちの滿洲にも馬車をひきまはしてひどく馬をいぢめてゐる滿洲人がたくさんみられます。もしもイギリスのやうなおきてがあつたならあんななさけしらずの滿洲人はだんだんなくなることでせう。私たちもみんなでいきものをかはいがつてやらうではありませんか。

寫眞の説明

この寫眞は九月十七日本社後援で行ひました全滿馬術大會で特に滿鐵乗馬部の松尾傳三郎さんにお願ひしてつくりあげたものです。松尾さんは明治神宮競技大會で優勝された滿洲の代表選手です。

1 ドンとスタートの合圖がなると、乗り手が馬に一むちあてます。タタ……馬も人も一しやうけんめい、なんといさましいではありませんか。

2 **4** これは馬が前足をふみきつて、障碍物の飛び越えにかゝらうとしてゐるところです。乗り手は馬の運動をじやましないために、からだを前にかゞめてゐます。馬も兩耳を前のはうにやつて、一ぺんに飛びこさうと障碍物に注意してゐます。

3 馬がアト足をふみきつて、障碍物のうへを飛んでゐます。四つの足をお行儀よくそろへてゐるところをごらんください。のびきつた馬のからだ、ピッタリと馬のからだについた乗り手、これでなければ上手に飛びこなせないのです。

5 これは「スペイン常歩調度」といつてまへあしをあげたところです、これと同じやうにうしろあしもあげて、パカ〳〵と歩くやうになれば「スペインが完全に踏める」といつて立派なものです。

6 **7** 障碍物を飛びこすために、スタートしようと斷足してゐるところです。

人のお手柄のかげに めざましい馬の活躍

滿洲で働く人たちは馬乗りくらゐ知つて置きたいもの

みなさん、ごぞんじのやうに去年の夏、アメリカのロスアンゼルスで開かれた國際オリムピック大會に日本の代表の西中尉が馬術競技の一ばん呼びものといはれてゐる大障碍飛越に何んでも世界一だと自慢したがるアメリカのチエンバレン少佐を二等に蹴落して、高さ一メートル十六から巾五メートルに近い大障碍二十個をつゞけさまに飛越て見事優勝しました。そして大スタヂアムの塔に高くたかく大日章旗をかゝげて、アメリカに住んでゐる日本人はもちろんのこと、母國の人々をアッといはせました。この名譽の優勝は、外國人にはまねのできない手足の動きと、注意深い馬の働きと、敗けじ魂と、それに立派な馬があつたからです。

那須の與一の扇の的や、明智左馬之助の湖水渡りやそのほか歴史のご本を見ると馬はきつと人間に手柄をさせるために大へんな働きをしてゐます。それにどうして私たち日本人は馬をおそれるのでせう。今ごろ馬がおそろしいやうでは時代おくれです。わが滿洲も昭和六年の事變このかた奥地をいろ〳〵しらべてあるくことや旅がおほくなつて、大平野の旅にはどうしても馬の背をかりなければならなくなりましたそれでにはかに馬乗りのお稽古をはじめる人も少くありません。いざといふときには常日頃から練習しておかなければ馬だけは役立たないのです。

むかしから「南船北馬」といつて、滿洲を旅するのには馬でなければならないのです。滿洲に住んでゐる日本人は誰でも是非馬に乗ることをくらゐは知つて置きたいものです。滿洲事變が起つてからといふものは、はる〲から來た新聞記者やそのほかの人たちが、兵隊についていろ〳〵な働きをしましたが、みんな餘り馬に乗ることが上手でないので、あのおとなしい驢馬さんに乗つてさへも、よく振り落されたといふ面白いお話がたく山あります

取扱ひが惡いと 噛んだり蹴たり

上手な乗り手になるのには 苦心もなか〳〵

馬がいろ〳〵な藝を上手にするやうにするのには、いふまでもなく馬がもと〳〵よくなければなりませんが、それにはまた乗り手も大へん上手で、自分の子のやうに馬をかあいがりいつもよくならさなければならないのです。それだけに上手な馬の乗り手になるのにはなか〳〵苦心しなければなりません。馬は大へん人なつこい動物です。かんだりけつたりするのは取りあつかひがわるいからです。親しいお友達と笑ひ話をしながら秋の晴れた郊外や春の野山、または霜の朝などくつわをならべて馬をはしらせるのはほんとうに愉快なものです。そして知らず、しらずの間にからだが丈夫になり、馬乗りが上手になつてゐたために、旅行やしらべごとやいざお國の大事といふときにお役にたつといふお話は數限りはありません（文責立上生）

小兒と肝油製品

醫學博士　高階修氏述

（一）肝油とヴィタミンの關係

肝油は有效成分として、其の中にヴィタミンA及びDを多量に含有してゐる。

此のヴイタミンA（脂肪溶解性發育促進）はバターや牛乳中にも含有されてゐるが、肝油には最も多く含まれてゐる。

ヴイタミンDは紫外光線と密接な關係を有し、人體内のエルゴステリンが紫外光線によつてヴイタミンDと成るらしい。ところで此Dも亦前述の如く肝油に最も多く含まれてゐる。

肝油に就ては特に觀る所あつて夙くから研究されたのが河合藥學博士で、發明されたのがミツワ濃厚肝油、その有效成分たるAD共に斷然濃厚で、實に歐米藥用肝油の五十倍に至ると云ふのである。

又從來肝油は他の油に比して比較的消化し易いと稱せられ、其榮養價甚大なる故、小兒科領域に於ても缺くべからざるものである。

然し肝油には一種特有の異臭があつて、如何に飲みよいと云ふても實際に當つて飲みにくゝ、まして有效成分の少いものでは連續するに相當量を以てするの要があり副作用として嘔吐下痢等を見る事がある。故に少量で良く效く事が理想的であり、更に之が美味となつたら一層歡迎すべきであらう。

（二）理想的な肝油製品

此意味に於て河合博士發明の僅少量でよく效く、ミツワ濃厚肝油を原料として更に苦心發明されたミツワ肝油ドロップスは美味ばかりか、乳化されてゐるから消化吸收の點でも理想的である。

加ふるに腦の發育を早め骨や齒を強くし、血液を增補し胃腸を丈夫にし、又脚氣を防ぐ燐、カルシウム、鐵、キナ及び酵母ヴイタミンB等數多の貴重な強壯料を合理的に配劑してあるから、其綜合的の榮養效果は頗る大きい。例へば肝油中のヴイタミンDはカルシウム及び燐と相伴ふてこそ新陳代謝に及ぼす作用が滿足に行はれると云ふが如き綜合的效果である。

特にミツワ肝油ドロップス一顆のヴイタミンAD含量は普通肝油の三瓦に相當してゐる。

抑々Aは發育榮養に最も關係深く之の缺乏は自然榮養の障碍、發育の不全を招き、身體の抵抗力が減退して病原菌や寄生蟲に對する感受性が高まり、傳染病や結核病にも甚だ罹りやすくなる。其他夜盲症、眼球や結膜の乾燥症、角膜軟化症等の眼疾を起し又貧血し、結石病に罹る等散々な事になる。

更にAと共にヴイタミンDが併存する事によつてAもDも愈々其の效果を完全に顯すので、Dは特に日光中の紫外線に代り得る性質を有し骨骼及び齒牙の發育に缺くべからざるものである。之を缺く時は骨軟化症や佝僂病になると云はれてゐる。それから前述の無機鹽類の新陳代謝に障碍を來し、腺病質の發生に深い關係があると云はれてゐるのは、最も注意すべきである。

（三）小兒科と肝油使用の關係

今小兒科領域から肝油類を使用すべき場合を簡單に述べると、

（一）腺病質　之は直接結核菌と關係ありと考へられてゐるが、結核菌に犯されてゐる小兒が凡て之に成る譯ではないが、之等の小兒は常に弱々しくて顏面頸部等に絕えず濕疹が出來て居り、頸部其他の淋巴腺扁桃腺は肥大し氣管枝カタルや鼻カタルを起しやすい。此樣な素質の小兒は結核菌に犯されやすい事も確である。腺病が進むと次の樣な症狀を起す。

（イ）淋巴腺系統の症狀。下顎關節の所の淋巴腺から始まり頸部の淋巴腺を犯し更に鎖骨上部の淋巴腺迄も犯される。初めは大豆大の堅い腫物に過ぎないが遂には外部に軟化し化膿する。胸部淋巴腺も同樣。

（ロ）骨系統。骨及び骨膜等に結核變化が行はれ、骨は壞疽に陷り、骨膜は肥厚し、手の指等に來ると紡錘狀となる。

（ハ）粘膜系統の變化。扁桃腺の肥大、慢性の氣管枝カタル、腺病性結膜炎となる。

腺病質の小兒には榮養に注意する事が大切で、腺病の豫防強壯料としてミツワ肝油ドロップスは誠に子供に飲みやすく、之を常用する事を先づ以てお奬めしたい。

（二）ヴイタミンAの缺乏　之には角膜乾燥症及び角膜崩壞症等がある。角膜が光澤を失つたかと思ふと混濁が起り破壞されてくるし遂には失明するに至るものだが、早期に氣が付き肝油類を與へれば失明を豫防する

（三）ヴイタミンDの缺乏　に依つて起こるのは骨軟化症や佝僂病であるが、之は生後二ケ月乃至二ケ年位の乳幼兒に多く來るもので、一般症狀として顏面は蒼白となり、小兒は絕えず不安狀態にあり立歩きも遲延し或は歩いてゐた小兒は急に歩けなくなつたりする。倚いろ〳〵の異狀を來し、齒牙の出方も遲れ、出た齒も軟弱であつたりする。胸部にも鳩胸等の變化を起こし、四肢にも長骨の彎曲、がに股、O脚、X脚等の變形を認むるものである矢張り一番肝油類が豫防に有效である。

以上の他榮養の惡い小兒、發育不全の小兒等には肝油類の應用は實に大切であつて、數多ある肝油劑中理想の肝油劑たる、ミツワ肝油ドロップスの常用をおすゝめする次第である。

（家庭醫事新報第一九二號より轉載）

けふの歴史

城山を枕にして 西鄕隆盛死す
鐵砲にも驚かぬ大たんな人

☆……隆盛は鹿兒島の人で、明治維新には大きなてがらをたてました。しかしみなさんもごぞんじのやうに、せいふの人とさいけんがあはず鹿兒島にかへつてゐましたがわかい弟子たちにむりにおしたてられて谷干城のまもつてゐる熊本城を攻せて官軍をひどくくるしめました。あのいさましい谷村計介がじぶんのやくめをりつぱにはたして官軍のあぶないところをすくつたおはなしのでてくるのはこの時です。このために隆盛はまけて鹿兒島にひきあげて城山にたてこもりましたが、すつかりまけてしまひ、九月二十四日つひに城山をまくらにして死にました。

☆……隆盛がまだわかいとき、幕府のものしりとして名高い勝安芳のところに學問をおしへてもらひにはじめてたづねていつたことがありました。ところが安芳はうちにゐてもなかなかでてきてあつてくれません。あまりながいこと待たせられるので隆盛はぐつすりげんくわんにねこんでしまひました。すると安芳はそこへきて「ドン」とてつ砲をうちました。このものおとにびつくりするかと思ひのほかおどろきもせず、しばらくしてから、モクリとおきあがり、あたりをみまはしたといふことです。隆盛はわかいときからなにごとにもこんなに大たんな人だつたさうです。

ご苦勞さまな渡り鳥
地球を半まはりして南極へ 飛ぶ北極のアジサシ

下　關あたりのある工場に何萬といふ燕が集まつて來てゐるといふお話を、ついこの間、こども新聞でみなさんにおしらせしましたね。いよ〳〵秋になりましたから燕たちは夏中に日本で生み育てた子供をつれて、これから南のあたゝかいジャバやスマトラの方へとんで行くのです。この出立の前には一度勢ぞろひをしますから、その時は何萬と一つ所に集まることがあります。これと入れかはりにシベリヤあたりでこの夏中子供を生み育てゝゐた鴨や雁のなかまが、秋から冬へかけて日本にとんでいきます。そしてこれは燕とちがつて夜さかんに餌をさがしに池や湖に出かけ、ひるまは安全な場所で休んだり眠つたりしてゐるもので、東京の宮城のお濠にゐる鴨たちは實はかうして休んでゐるところです。

ほくきよくのアジサシ

そのほか千鳥のやうに、北から南へ行く途中、冬しばらくだけ日本の海岸や河に姿を見せる鳥もあります。北極アジサシといふカモメににた海鳥などは、ほとんど地球を半周して北極から南極近くまで渡つて行くといはれてゐます。一たい何のためにご苦勞樣にもこんなにながいたびをするのか、氣の知れない話でせう。現に雀や烏のやうにあまり旅行しないのもあり、鷲や百舌鳥(モズ)のやうに、山へ行つて子供を育て里へ出て來て啼くのもあり、何もわざわざながい旅行なんかしなくても生きて行けさうなものです。鴨から飼ひならした家鴨なんか、決して渡りはしなくなつてゐます。

かういふところから、昔は多分その鳥の好きな餌が時候によつてゐなくなるので喰ひたい一心でながい旅行をするといはれてゐました。ところが調べて見ると、たべ物はまだ充分あるのに渡つて行くのですから、この「喰ひたい一心」といふのが怪しくなり、今では、たぶん子供を生んだり育てたりするためだらうといふやうになりました。わたり鳥は子供の生れる頃の少し前になると、みんなイライラして來て落ちつかなくなり、何となく住みなれたところにゐたゝまらなくなつて、とび出してしまふのです。時とするとその子供を大切にする鵜のある鳥でも、その大切な子を捨てゝ渡つて行つたり、羽根を切られた鳥がテク〳〵歩いて何百粁も渡つて行つたといふ話さへあります。ともかく渡り鳥が出かける時の意氣込みといつたら、こんな風にまるで半分氣狂ひのやうです。

があがあアヒル

その他この世界がまだまだ若くて、人間やけものゝ生れなかつたころや、その後これ等が生れてからも、全世界が何度も寒くなつたり熱くなつたりして、寒い時には、北極や南極や高山だけにしか今ない氷河が、そのころは世界の半分以上まで乘り出して來て、鳥などはそれに追はれて南に移つて行きました。その時分の先祖の癖が今なほ殘つてゐて、御苦勞千萬な渡りをするのだといふ人もあります。どれが本當か今のところではハッキリしませんが、鳥によつて渡る方向も違ふのですから、渡りの起りだつて無理に一通りに限るには及ばないのかも知れません。

チドリ

家庭滿洲語 紙上講座

第廿七課

一 (1) 穿(ツ(ウ)オアヌ)衣(イー)裳(ス(ア)ン)。 (2) 穿(ツ(ウ)オアヌ)褲(ク(ウ)ー)子(ツ)。 (3) 脫(ト(ウ)オ)衣(イー)裳(ス(ア)ン)。 (4) 換(ホ(ウ)オアヌ)衣(イー)裳(ス(ア)ン)。

二 (1) 穿(ツ(ウ)オアヌ)鞋(シエ)。 (2) 脫(ト(ウ)オ)鞋(シエ)。 (3) 穿(ツ(ウ)オアヌ)襪(ワー)子(ツ)。 (4) 脫(ト(ウ)オ)襪(ワー)子(ツ)。 (5) 不(ブー)穿(ツ(ウ)オアヌ)襪(ワー)子(ツ)。 (6) 不(ブー)脫(ト(ウ)オ)鞋(シエ)。

三 (1) 洗(シー)衣(イー)裳(ス(ア)ン)。 (2) 晒(ス(ア)イ)晒(ス(ア)イ)。 (3) 乾(カー(ヌ))了。 (4) 收(ス(オ)ウ)起(チ)來(ラエ(イ))。

四 (1) 乾(カー(ヌ))淨(チン)。 (2) 不(ブー)乾(カー(ヌ))淨(チン)。 (3) 洗(シー)乾(カー(ヌ))淨(チン)。 (4) 涮(ス(ウ)オアヌ)乾(カー(ヌ))淨(チン)。

【譯語】

一 (1) 着物を着る (2) ヅボンを穿く (3) 着物を脫ぐ (4) 着物を更へる

二 (1) 靴を履く (2) 靴を脫ぐ (3) 足袋を履く (4) 足袋を脫ぐ (5) 足袋を履かない (6) 靴を脫がない

三 (1) 着物を洗ふ (2) 日に當てゝ乾す(乾せ) (3) 乾いた(干た) (4) 仕舞ひ込む(取込める)

四 (1) 綺麗(淸潔) (2) 汚い(不潔) (3) 綺麗に洗ふ (4) 綺麗にゆすぐ(茶碗など)

【說明】

穿は穿つ、貫く等の意であるが着物などの場合は「着る」ヅボンなどの時は「穿く」履物などには「履く」と譯す。

脫はいふ迄もなく總て「脫ぐ」こと、穿に對する反面である。

換は取替へる意味で、廣く一般の事物に使はれる。

晒は曬の略字で、直接日に當てゝ干すことである、陰干しにすることは別に晾(リアン)といふ言葉が有るから、直接日に當てゝよいものと惡いものとに依つて使ひ分けなければ成らない。

乾淨は綺麗即ち淸淨又は淸潔の意であつて、美麗(好看)といふことゝ區別しなければいけない。

發音上の注意

穿ツ(ウ)オアヌ**涮**ス(ウ)オアヌ**換**ホ(ウ)オアヌは孰も(ウ)オアヌといふ結合した韻を持つて居るから、初めは口はすぼめた(ウ)からオに移り、オからアに向つて段々に口の孔が廣がつて行く樣に練習するがよい。

換ホ(ウ)オアヌは口を小さくすぼめた(ホ)から出發するのであるから(ホアヌ)又は(フアヌ)と成らぬ樣充分に注意されたい。

前週の答

(1) 拿東西去 (2) 拿甚麼東西去 (3) 拿書去 (4) 拿筆寫字 (5) 拿筷子吃飯 (6) 拿匙子喝湯 (7) 吃飯用筷子 (8) 喝湯用匙子 (9) 不用酒杯 (10) 用甚麼東西

【問題】―次の言葉を支那語に譯せ

(1) 着物を着ない (2) 靴を履かない (3) お前取替へろ (4) 水を取替へる (5) 着物を着更へない (6) 日に當てゝ乾かした (7) 皆仕舞ひ込んだ (8) 綺麗に拭く (9) 綺麗にブラシを掛けたか (10) 大層綺麗に成つた

一年前の回顧

訪滿學童使節來連 (九月二十四日)

訪滿學童使節一行十五名は滿洲國建國の祝意と正式承認と共に日滿親善の重大使命を双肩に擔ひうすり丸にて恙なく來連しましたが在連敎育界の人々や在連學童代表等の多數の出迎へを受け日滿國旗を打ち振りつゝ目的地に可愛い第一歩を印しました。

滿洲特產協會開催 (同 二十五日)

午前十時より大連ヤマトホテルで滿洲特產協會第八回總會を開催、種々の討議を終つた後滿蒙事情に關する講演會が開かれ「銀と特產について」「大豆工業に關する研究問題」「滿蒙資源と日本」等斯界のオーソリテイの研究發表あり多大の感銘を與へました。

岩瀨・木下の奮戰 (同 二十六日)

大連實業團對全奉天軍の二回戰において、岩瀨、木下の兩實業投手は全奉天軍の强打者をむかへ二日續けてノーヒット、ノーランの記錄を作りました。

中野正剛氏講演會 (同 二十七日)

新興滿洲國視察のため來滿した國民同盟常任委員中野正剛氏の講演會は本社後援のもとに午後四時半より協和會館で開かれましたが會衆三千、約二時間にわたる大雄辯は滿場の拍手を受けました。

滿洲航空會社設立 (同 二十八日)

滿洲國政府は滿洲の大平原を連絡するには航空機が最も便利であるとし滿洲航空株式會社を設立、新義州、奉天、新京、ハルビン、大連、奉天間の航空連絡をする旨發表しました。

初代駐日代表入京 (同 二十九日)

滿洲國初代駐日代表鮑觀澄氏一行は午前八時半本庄將軍、吉田大使以下多數の知名士並にホールをうづめる群衆の萬歲の歡呼に迎へられ東京驛に着きました。

滿洲國に全權大使 (同 三十日)

帝國政府は滿洲國承認決定、現代運用されてゐる特命全權制度を締盟各國と同樣滿洲國にも適用して特命全權大使を滿洲國に駐箚せしむることに閣議で決定しました。

今週の獻立

	朝	晝	晩
日	葱、大根、味噌汁、花らつきよう	蟹玉子、大根おろし、燒茄子	竹輪、角天、里芋、蒟蒻、がんもどき、おでん、辛子
月	とろゝ、昆布味噌汁、なすの辛子漬	南瓜、きんちやん	メンチボール、野菜サラダ
火	若布味噌汁、小えび佃煮	ほうれん草、ごま和へ、炒り豆腐	鮪二杯酢、ちらし玉子、もみ海苔淸汁
水	茄子味噌汁、胡瓜の味噌漬	白魚辛子和へ、支那大根、厚揚煮付	豚肉、生姜燒、やきふ、三葉淸汁
木	豆腐味噌汁、山椒昆布	蒟蒻、油揚、もやし、胡瓜、大根、ごま和へ	鯖照りやき、とろゝ昆布淸汁
金	しゞみ味噌汁、大豆煮豆	卵の花、玉子、人參、葱、酢入り	鮪の山かけ、はんぺん、三ツ葉淸汁
土	里芋味噌汁、海苔佃煮	チキンライス、フルーツ、サラダ	海老、人參、牛蒡、蓮、いんげん豆、天ぷら、大根おろし

(明治卅八年十二月五日第三種郵便物認可)

滿洲日報

九月二十三日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本富代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町三十一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

出迎へませう
第二次凱旋部隊
明朝九時半大連驛着

お、武勳の第六師團

晴れの凱旋を迎へて 大連驛頭感激の渦巻

けふ先發部隊將士着連

赫々たる武勳を輝かす第六師團凱旋將士松田少將以下鷲津部隊主力及び宇賀部隊の一部は先發隊として二十三日午前九時半の特別列車で凱旋した、昨年十二月七日入滿以來駐滿約十ケ月其の間吹雪を衝いて內蒙の沙漠を突破、長驅赤峰へ進擊、我が戰史上未曾有の壯擧を敢行し世界戰術家を驚かし、また轉戰長城線においては冷口、白牛峪の激戰に苦鬪を重ねた我が九州健兒である、酷暑酷寒の風雨に曝された勇士の赭顏は駐滿十ケ月の困苦を銘してゐるが然し凱旋の喜びは朗かだ、赭顏を割つて哄笑が爆發する、沿道から日の丸の小旗を打振つて歡迎する日滿市民の熱誠に感激して特別列車內は凱旋の歡喜興奮で打破れるやうだ

列車が定刻九時三十分大連驛プラツトホームに到着すれば待ち構へた歡迎の市民が日の丸の小旗を振つてワツと萬歲を爆發する、高柳中將、滿鐵竹中理事、岡野市助役ほか官民名士、市內各學校團體、男女市民があの廣い驛廣場を立錐の餘地もない程埋めて無慮一萬五千、萬歲の歡呼が澄み切つた秋空に響いてプラツトホームは出迎へる者、迎へられる者相混じて感激のルツボだ、直に整列した凱旋部隊は部隊長の命令一下、聯隊旗を前にして驛廣場中央に集合した、邊房だけ殘つた軍旗は多年激戰の軍功を物語り歡迎の市民思はず肅然として頭を下げる、嚠喨たる敬禮の喇叭の吹奏によつて敬禮を行ひ次いで岡野市助役は歡迎市民を代表して

我々は赤誠を以て武勳輝く第六師團凱旋勇士を御歡迎致します

と挨拶を述ぶれば松田少將は凱旋將士を代表し

大連市民各位はいつも歸還する戰傷病者また遺骨の送迎に多大の赤誠を以てせられ我々感謝のほかはありません、また我々今回の歸還に對し御熱誠なる歡迎に預り心から感謝致します

と音吐朗々と謝辭を述べた、斯くて午前十時凱旋部隊は騎馬の鷲津部隊長に率ゐられ軍旗を先頭に歩武堂々と宿泊所の關東倉庫に向つた、この日驛廣場には本社歡迎門のほか大國旗を交叉し市中各門戸日章旗を掲げ歡迎した

戰の跡を顧みて

"勝利か死か"

第○○團長　松田少將談

二十三日凱旋した第六師團第○○團長松田國三少將は戰塵にやけた赭顏に鼻下左右八寸にも及ぶ美髯を蓄へたまことに凱旋將軍に相應しい堂々たるものだ、途中金州まで出迎へた記者團に對して元氣よく語る

去年十二月七日入滿してその間熱河、長城線の戰鬪に從つたわけだ、六師團が赤峰に向つた時の困苦は既に諸君も承知だらうがあの酷寒には兵は隨分苦勞したものだ、シベリヤ戰の時中野枝隊が

酷寒 の爲め約三百名の凍傷者を出したが皇軍としてはあれ以來の出來事だつた、多數の凍傷者を出したのはまことに濟まぬと思ふ、然し赤峰に入城する時は却て天候が幸したやうなものだつた、三月四日だつたがあの日天地晦冥となる程の吹雪で之が爲め敵は約二千四百ゐたが陣地にじつとして居れば凍死する爲め皆部落に巣つて焚火を行ひ暖をとつてゐた、是が爲め六師團が吹雪を衝いて赤峰に迫つた時は陣地に就くことも出來ず周章逃亡してしまつた、是がため二千四百の敵を相手に我が六師團はたゞ負傷二名のみ一人の死者もなく赤峰を

占領 したのだ、實に意外だつた、それにしても兵があんな困苦に遭つても誰一人不足を云ふ者もなく上官の命に從ひ働いたことを見て流石日本軍だと心から感じた、日本軍は實にこの銃後の後援のため得る力が大きいものと思ふ、皆が皆精神的に背水の陣を布いて戰鬪してゐる出征の時あんなにまで國民の熱誠を以て送られ無爲には歸れない、といふこの氣持は自分だけでなく誰もが感じてゐるやうだだから勝つか死ぬかこの氣持この精神的背水の陣が日本軍を強くする大きな力だとつく〴〵感じた(寫眞は松田少將)

迅風の進擊

鷲津部隊長語る

二十三日第六師團第一日凱旋勇士を率ゐて來た鷲津部隊長は車中にて語る

我が部隊は熱河、灤東の戰後奉山線打虎山に駐屯して彰武、盤山間の地帶を守備してゐたが最近同地帶は百名以上の匪賊團の如きものは滅されて殆ど影を失ひたゞ二、三十名の強盜的なやつが殘つてゐるだけで治安も大變治まつた、我が部隊の戰死者は越替中佐、上原少佐、山口少尉以下二十名、病死二名で戰傷者は四十九名を出した、我が部隊の最も苦戰したのは長城線における白牛峪の戰鬪だが此處で越替大隊長、上原中隊長、山口小隊長の各幹部を殺して了つたこの戰鬪で我が部隊としては最も損害が多くその次では冷口では七名の戰死者を出した、長城縣灤東地區の戰鬪は全く迅風の如く我軍が進擊したものであの時敵も十一、二ケ師團ゐたのだから敵が本氣で戰鬪するやうなら大變な激戰になつた筈のものだつた、丁度我が部隊が上倉鎭に敵と對峙してゐる時に停戰協定が成つてやめたのだがあの時は北平は指呼のうちにあり双橋無電臺など見えた程であるから第一線にゐる者は北平入城出來ないのは實に殘念に思つてゐたものだよ

日本軍馬の改良は完成

宇賀部隊長談

二十三日凱旋した第六師團宇賀○○部隊長は車中語る

野砲隊は戰鬪よりも行軍の苦難犧牲が遙かに大きい、然し今回の戰鬪で日本軍馬も永年の改良の結果愈々滿洲で立派に使へることが確信された、寒さにも十分堪へ得る自信がある、支那馬なんかとは比較にもならぬ程耐久力もあり強い、餘り日本馬は大事にし過ぎるのでよく支那馬の方が耐久力があるやうに云ふが支那馬を軍馬に使ふにはもつと〳〵改良しなければならない今滿洲國でやり始めたやうに聞いてゐるが日本軍馬の改良はこれで完成したものと思ふ

たゞ一人 無言の凱旋

二十三日第六師團第一回凱旋勇士が歡喜の顏を輝かせて元氣よく凱旋した中にたゞ一人物云はぬ悲しき凱旋が交つてゐた故一等銃工兵細川建吉君で部隊が凱旋の喜びに充ちてゐる直前同君は去る十六日奉山線において乘合した列車中匪賊が同車の十二萬圓現金をねらつて襲擊せる際孤軍奮鬪つひに壯烈な戰死を遂げたものである、細川一等兵の遺骨は白木の箱に納められ車中軍旗の前に安置され戰友の優しき餞の衛衞、梨等が供へられてあつた

ばいかる丸

二十四日のばいかる丸は七時半港外着の豫定

北鐵交涉の打開に ソ聯、我斡旋を依頼

外相、具體的交涉慫慂

【東京二十三日發國通】二十一日午後外務省に廣田外相を訪問して北鐵問題に關し懇談した駐日ロシア大使ユレニエフ氏は二十二日午後二時四十分重ねて外務省に外相を訪問し依然として行詰りに停頓して居る北鐵交涉促進方につき斡旋方を依頼したので外相は北鐵交涉の圓滿なる解決は我方の希望するところなるも未だ露滿双方において交涉の基礎たるべき換算率問題その他條件に關して當事者間の具體的意向さへ判明して居ない情況であつて具體的數字問題に關して兩者主張の限界が分明せざる限り日本から今積極的に斡旋すると云ふ譯にも行かず相互今少し具體的事項について話合ひを進めらるべきことが先決問題のやうに思ふとて暗にロシア側が換算率を提示すべきことを慫慂した

邊業銀行取付

【奉天電話】學良華やかなりし頃の金融機關として活躍した天津の邊業銀行は學良の歐洲亡命に經營上多大の支障を來し一般の信用も低下しつゝあつたが突如北支政權が愈々黃郛氏一派の占むるところとなり學良の歸國復活も見込み薄となり學良の沒落の內情を暴露した形となり奉天、ハルビンには邊業の通貨も取付けを受けるに至つた、滿洲に發行してゐるのでこれは地方貨として中央銀行で整理してをり天津邊業の取付には何等影響はない

陸軍明年度豫算總額決定す

近く全部大藏省に回附

【東京特電二十三日發】明年度陸軍省豫算のうち滿洲事件費を除く新規要求二億三百萬圓は大藏省にて一應查定を終り保留されてゐた滿洲事件費も約一億六千萬圓と決定近く大藏省に回附することゝなつた、その結果陸軍の明年度豫算總額は大體次の通りである(單位千圓)

一、標準豫算 二一六、〇〇〇
一、新規要求 一八〇、〇〇〇
資材整備費
滿洲事件費 一六〇、〇〇〇
燃料研究費その他 二八、〇〇〇
小計 三六八、〇〇〇
總計 五八三、〇〇〇

滿日婦人團 凱旋部隊接待

本社並に滿日婦人團では凱旋部隊の離連の日たる九月二十五、六、七及び十月五、六、七の六日間にわたり各日共午後一時半から第一埠頭待合所でおでん、湯茶その他の接待をすることになつたが接待には本社員、婦人團員の外に神明、彌生、羽衣の各同窓會員中の有志もこれに參加し武勳輝く將兵の歡待慰勞をなす筈であるから各有志同窓會員は參加され度いと

米穀統制聯合協議會

【東京二十三日發國通】米穀統制に對する拓務省植民地側態度は二十二日第二回目の聯合協議會で大體決定、會議經過に徵するに農林省の植付け減反案は相當程度修正をみた實情で拓務省は二十五日の第三回協議會で修正上の具體的協議をなする方針である

輝く凱旋行進曲

寫眞は(上)殊勳の聯隊旗、(中)凱旋勇士の市中行進(下)驛廣場歡迎の市民左側は本社の歡迎塔

▲松田國三少將(第六師團○團長)二十三日午前九時半來連遼東ホテル
▲平岡力少佐(松田少將副官)同上
▲鷲津鈆平大佐(第六師團部隊長)同上關東倉庫
▲宇賀武少佐(第六師團)同上
▲福島縣議一行七名 二十三日出帆大連丸で靑島、上海へ
▲岡本誠氏(海務局長)同上

蛇角

轉戰また轉戰、大任を果したわれらの勇士凱旋。
◇
軍國の秋に、歩武堂々と歸る、九州健兒の雄々しさよ。
◇
感激の嵐、感謝の雨、萬歲歡呼に大連市中沸き立つ。
◇
人氣役者の缺けた國際聯盟は、氣の拔けたビールの如し。
◇
擡頭したファシヨ聯盟は、ローマ製のアルコールが強い。
◇
女が男になつてゐた、男が子供を產んでゐた、市井異聞。

東天紅 (207)

田中純一郎 林一三 書

モンナ・ヴンナ (三)

「どうするさ言つたつて、どうもしようはないさ。まさか、お前さんにくつついて、滿洲くんだりまで行くわけにも行かないぢやらうから、わしはおさなしくお前さんの歸つて來るのを待つてゐるよ」

松波老人が、くすぐつたさうに答へた。

「でも、あなたにその辛抱が出來て？三ケ月もの間」

「止むを得んさ。辛抱するさ」

「わたし、何だか心配だわ」

「何が心配なのさ」

「その間に、私のことなんか、忘れてしまはれるのぢやないかと思つて」

「はッ、はッ。お前さんも割りに心配性だな。こんな可愛いお前さんを、誰が忘れるものかね」

松波はさう言つて、晶子の腰のあたりを撫ぜ廻した。

「解らないわ。だつて、あなたの

ここですもの、その間に、屹度、淋しくなつて、ほかの女を手に入れやうとなさるに違ひないのですもの。さうすれば、わたしなんぞ厭になつてしまふかも知れないぢやないの」

「はッ、はッ。誰がお前さんを棄てたりするものかね。それよりも、お前さんの方が、よつぽどあぶないよ」

「まア、ひどいわ。わたしはそんな浮氣者ぢやなくつてよ。御心配なら、貞操帶はめて行つても好いわよ」

「はッ、はッ。まさか、貞操帶をはめるわけにも行かんぢやらうが……」

松波が、嬉しさうにげら〳〵と笑ひ出すと、晶子は妙に沈鬱な顏をして、しばらく默つてゐたが、突然、顏を擧げると、何かの決心をしたやうな色を見せて、

「それよりも、いつそ、私の留守の間、わたしの代りになる人を、お持ちにならない？」といつた。

「お前さんの代りになる人？」

松波は驚いたやうに訊き返した。

「えゝ、つまり、その間の臨時の戀人をお持ちになるのよ」

「しかし、それでは、お前さんが今いうたことゝ反對になるぢやないか」と、老人は、にや〳〵笑ひながら言つた。

「ちつとも反對ぢやないわ。私にはね、あなたが、三ケ月もの長い間、一人で辛抱なさるやうな人でないことは、ちやんと解つてるの。だから、その間、あなたに一人ぽつちでゐて下さいなどゝは、決して言はないつもりなの。だつて、それは、男として不可能なことですもの。だから、その間に、あなたがお妾をお置きにならうと、藝者買ひをなさらうと、それは構はないと思ふの。だけど、たゞ、私の一番厭なのは、その結果なのよ。その結果、私が棄てられるやうなことになりはしないかと思ふと、わたし、不安でたまらないのよ。だから、むしろ、この際私の信用の置ける女を一人、私の代りに、あなたに推薦して行かうかと思つてるのよ」

「はッ、はッ。お前さんも、えらいことを思ひついたものだね」

老人は、なかば冷かすやうに笑つたが、內心では、ちよつと心が動いてゐた。

「それにね、このまゝで私が滿洲に行つたら、屹度また潤子のところへ歸つていらつしやるだらうと思ふから、それも心配なのよ」と晶子は言つた。「ほかの女ならかまはないけれども、潤子さんの燒けぼつくいだけは私いやなの」

「ふふん、それで、お前さん、わしに推薦したい女が、何處ぞに居るのかね」と、老人は、口のあたりをぴく〳〵と痙攣させながら、訊いた。

善鬼惡鬼 (207)

平山蘆江作
刈谷深隍繪

電火(二)

「どうしたと仰しやるのです」
吉兵衛が油口で鼻をおさへながら、聞いた。
「機械はさめました」
「機械を――」
「牢をあけて見て下さい」
「牢を、――樂齋どのは何を云つておいでぢや」
「これをおあづけ申す」
自分の前へのばした手の中に、ガチヤ〳〵と云つてゐるのは合鍵らしい。
吉兵衛は受取つて牢の扉へあてがつて見た。扉は無事に開きさうだつた。
「待つて」
樂齋は吉兵衛の手をおさへたが間もなく居間の方から雪洞に灯を入れて持つて來た。
雪洞を受取つて牢の中を照すと、中は濛々たる煙り、そして息がつまるかと思はれる臭さであつたが、少しづゝ薄まつてゆく煙の中に、凄惨な二つの塊が、さげ〳〵しやちこばつて、倒れてゐるのを見つけた。
吉兵衛はのけぞるばかりに驚いた。
「これは」
「成敗いたした」
「成敗と仰しやるのは」
「不義ものを成敗いたしたのだ」
さう云ひながら牢の側に立つた樂齋は左の片手に匕首を一本引ぬいてゐた。
「其刀で」
「いや、エレキの力で」
「おゝ、それでは、今のはげしい光りが」
「もし、あのエレキが利かないために、中からとび出すやうな事があつたら、只一突にこの切先へかけやうと思つたのです。萬一の時の用意ぢや」
「なるほど」
それ以上、吉兵衛は何もいひ得なかつた。
「吉兵衛どの、私の顏を見て下さい。立つても居てもゐられぬほどの喜び、このやうな嬉しさは近頃にない」
「むごい云ひ方ぢや。どうして、いつの間にそんなむごい云ひ方をするやうにはなられた」
「人を殺したのがむごいと仰しやるのか」
「いや、殺した上に、近頃にない嬉しさなど仰しやる心持がむごいと申しました」
「はゝゝ、拙者の喜びはさうではない。先日から貴公といろ〳〵に工夫いたして居つたエレキテールの力を強める事、あれが美事に成功いたしその實驗が、この通りに目のあたりに整つたので、此の上もない嬉しさと申して居ります」
「お、あれが、あの強藥のエレキか」
「貴公も嬉しからう、思ひがけない事で、思ひがけないためしが出來ました。もう大丈夫だ、これからは、あしたからは、第三段のためしに取りかゝれる」
「や、それは〳〵、全くおめでたうござる」
「おめでたう、吉兵衛どの」
「おめでたう、樂齋どの」
人二人を犠牲にする事によつてエレキの新工夫が出來た事を、二人は夢中になつて喜んだが、遂に吉兵衛はすぐに我れにかへつた。
「併し、それにつけてもエレキのための犠牲になつたこの兩人は不愍千萬です」
「不愍といへば不愍だが、是非もない事ぢや。當然の酬いかも知れぬ。云はゞ、不義ものの成敗ぢや」
「この兩人の言葉をお聞きになつたか」
「聞きました。聞いたゆゑにこそ、ためして見る氣になりました」
「ではやつぱりはじめから不義成敗のために――」
「いや、成敗する氣はなかつた。成敗以上の苦しみを見さしてやらうと思つたのだが、思ひがけなく、強藥のエレキが利きすぎて、結句、こいつらには仕合せであつたかも知れぬ。苦痛な一刻もなかつたからなア。はゝゝは」
朗らかに笑つてゐる樂齋を、吉兵衛はびつくりして見つめた。
「ためしついでに、今一人ためして見てもよい男がゐる」
獨り言ともつかず、吉兵衛に云つて、樂齋はニヤリと笑つた。

天龍下れば

松竹サウンド版
中央映畫館上映

市丸の流行小唄「天龍下れば」を主題とする松竹蒲田のオールサウンド版で野村芳亭原作監督 松崎博臣脚色 長井信一撮影 天龍峡にロケした作品で川崎弘子と竹内良一が主演してゐる
ストオリイは友達と共に天龍下りをした學生木崎(竹内良一)がふとした機會で藝妓照香(川崎弘子)を庇つたことが緣となり照香は木崎を慕ふやうになり、遂に姉藝妓の千代菊(八雲理惠子)の許しを受けて上京し木崎の友人長田兄妹(江川宇禮雄、水久保澄子)の親切で木崎のアパートに住ひ百貨店の賣子となつて、つゝしまやかな而も嬉しい日を送るうちに風邪がもとで床につく、そこへ千代菊が訪れて來て、去り難い東京を病氣のため木崎と別れて郷里に歸る、そのうちに照香の父が現はれ、嬉しい父子の再會も束の間、病は惡化して木崎が電報で駈けつけると共に照香は思ひを果さず純情な戀を抱いたまゝ淋しく散つて行く
この青年と少女の純情をテーマにして「天國に結ぶ戀」のコムビである竹内川崎を主演者として野村芳亭監督が大衆を狙つて紅淚をそゝる映畫であるから一般受けがする作品となつてゐる(寫眞は竹内と川崎)

あすの放送

大連 JQAK 九月二十四日

▲午前六時 ラヂオ體操第二
▲午前六時卅分 ラヂオ體操第一
▲午前十時 レコード(ビクター、コロンビヤ、ポリドール)
▲午後零時一分 大連新聞社主催全滿選拔野球大會實況(實業グラウンドより中繼)
▲午後零時十分 ニュース
▲午後三時卅分 ニュース
▲午後六時 ニュース
▲午後六時卅分(東京より)長唄(一)「紅葉詣」唄吉住小七郎、同吉住小吉郎、吉住小文郎、三味線稀音家四郎太郎、三味線稀音家三郎、上調子稀音家五郎、(二)「神田祭」杵家得知作詞、吉住小三郎稀音家六四郎作曲、唄吉住小三八、同吉住小六郎、同吉住小平次、笛住田又三郎、小鼓望月左吉、大鼓望月季太郎、三味線稀音家四郎助、同稀音家六郎、四郎雄、同稀音家六郎、大鼓望月長四郎、同望月吉左久、大太鼓望月左七、鉦望月誇賦
▲午後八時十分(東京より)ラヂオ風景「秋を迎へ」釣りの秋(吉山朝吉作)野球の秋(太田四州作)郊外の秋(麻生豐作)出演者劇村秀夫、柳水二郎、吉岡啓太郎、山田巳之助、本橋清夫、池内清峰、寺島榮一、高木村正夫、小杉義男、保浦籌、生方賢一郎、村田みれ子、西條靜子、その他大勢、放送局編輯
▲午後八時三十一分 ニュース 氣象通報

日曜附錄 まんにち

五十音ウタ

橫井福二郎

アイウエオ……ツキサマ　キレイダゾ
カキクケコ……シヤハ　ヲドラウヨ
サシスセソ……レソレ　ミンナコイ
タチツテト……ントコ　ヤレコラサ
ナニヌネノ……ノサマ　ニコニコダ
ハヒフヘホ……レサ　ノ　ヨイヨイヨイ
マミムメモ……ツト　モツト　ゲンキヨク
ヤイユエヨ……ドウシ　ヲドラウヨ
ラリルレロ……ン　ロン　ピヨンピヨコリン
ワヰウヱヲ……ドレヤ　ソレヲドレ

童話 湖の鐘

まゆみ

信作はみなし兒であつた。五つの時父を失ひ、つゞいて母が亡くなつたので、貧しい信作とその妹は別れ別れに貰はれて行くことになつた。

信作が貰はれた先は、田舍の小さな禪寺で、年老つた和尚さんが一人ゐるきりだつた。

信作は貰はれた日から忙しい仕事をいひつけられた。朝はにはとりよりも早く起きて、拭き掃除やら御飯ごしらへをやらされた。どんな冬の寒い朝でも怠ることを許されなかつた。和尚さんは「それが修行なんだ。人間は若い時に苦勞しておかぬと偉くなれないよ」といつた。

信作は仕事の辛い時、いつも優しかつたお母さんを思ひ出した。

仕事の中でも一番苦しいのは朝晩きまつた時刻に鐘をならすことだつた。

時間がくると、何をおいても鐘樓へかけ登らなければならなかつた。此處へくると、村全體を見下すことが出來た。藁ぶきの屋根の間から、ちらちら湖も見えた。

信作が村へ來てからもう三年になるが、一番仲よしになつたのは清太爺さんだつた。

この爺さんは一人ぼつちだつたから、信作に同情して、自分の子のやうに可愛がつてくれた。

或日清太爺さんは、鐘樓のそばの百日紅の幹にもたれて、次のやうな湖の傳説を語つてきかせた。

「昔この村にどこからか美しい女が流れて來て、或人の妻になつた。夫婦の間に子供が一人あつて何不自由なく暮してゐたのだが、不思議なことに妻は入浴の姿を見ては大變なことになりますから、どんなことがあつても見てはいけませんと云つてゐた。夫はその約束を守つて來たのだつたが或日ふと、いたづら半分に覗いてしまつた。妻は大變怒り悲しみ、

「秘密を見られた上はもはや一緒に暮すわけには參りません」

といつて、たちまち湖に身をおどらせて飛び込んでしまつた。

夫は後悔したがおそかつた。母を失つた子供は、夜も晝も泣きつゞけて父親を困らせるので、父は困り果て湖のそばへ來て

「どうぞ後生だからこの子の泣くのをなだめてください」

とたのむと、湖の中から蛇體になつた母があらはれて

「では、これをおもちやにして下さい」

といつて、自分の片方の眼玉をくりぬいて與へた。子供はそれを持つと泣き止んだが、いつかなくしてしまふと又泣き出したので、母は再びもう一方の眼をくりぬいて與へた。

そして

「自分は兩眼をなくして今日より盲になつた。目が見えなくては何の樂しみもない。せめて朝夕は寺の鐘をならして聞かせてくれますやうに」

といつた。それからといふものはどんなことがあつても、この村では朝夕の鐘をつくことを怠つたことがないのだ。信作、お前はその仕事を立派にやつてゐてくれるのだ。どうかこれからもたのむよ」といつた。

清太爺さんの話を聞いてから信作は鐘をつくことがやり甲斐のある仕事に思へてきてうれしかつた。今でも湖の底深く生きてゐると云ひつたへてゐる蛇體の母が自分のつく鐘をじつと聞いてゐるのだと思ふと、一生懸命になれた。

そして自分の母も、きつとどこかの空から、自分の打つ鐘をきいてゐてくれるやうな氣がした。

信作は湖の母と、空の母とに、朝夕の挨拶をするつもりで力一ぱい鐘を打鳴らした。

どんなに悲しい時でも鐘樓へ登ると忘れられる樣な氣がした。

信作のつく鐘の音は、朝は村人に希望と元氣を湧き立たせ、夕は平和と祈りの心とを起させてくれた。

童謠マンガ キツネトタヌキ

(ヒダリカラ　ミギヘ　ヨミナガラ　ミテイツテ　クダサイ)

1. アカルイ月ノヨ　山ノナカ
2. タヌキガ和尚サンニバケタトサ
3. キツネハ小僧サンニバケタトサ
4. ホソイ山ミチ　マガリカド
5. 二人ハバツタリデアツタトサ。
6. ピカピカコバンハ和尚サン
7. ホカホカボタモチ小僧サン
8. 二人ハカヘツコシタンダトサ。
9. ペロリトシタダス和尚サン
10. ダンゴヨクヨクシラベテミタラ
11. ダンゴ石コロニハヤガハリ
12. コチラ小僧サンニコニコガホデ
13. コバンヨクヨクシラベテミタラ
14. コバン木ノハニハヤガハリ
15. 月ノヨ　山ノハナシダトサ。

こどもの考へ物 第六十五回

お父さまたちのネクタイか　それでなければ……

寫眞をよくごらんください。すまし顔したこの人のネクタイがちよつとおかしいですね、ほんとうにネクタイをしてゐるのでせうか。

わかつたら來る九月一日までにハガキで大連市東公園町滿洲日報社内「滿日日曜附錄係」あてにお答へください。正解者にはいつものやうに二十名に限りご褒美を差しあげます。

第六十三回の答 ペンギン鳥

第六十三回の考へものはペンギン鳥でした。なかなか皆さんは考へることが上手で、何を出してもあてるので新聞社のをぢさんたちは大こまりです。籤をひいて今度は次の方々にご褒美をあげることにしました。

當籤者

▲大連竹澤英郎▲同平澤小夜子▲同久志本▲同増山正直▲同河野滋▲同立山常子▲同岡村[illegible]▲同宮本幸子▲同井口信之▲[illegible]大西清子▲同祇綿睦生▲同[illegible]泉▲同宮本福夫▲安東山賀[illegible]▲下馬塘下田勳▲他山堀越[illegible]▲奉天岩崎正夫▲金州正田[illegible]▲瓦房店吉田千賀子▲新京加藤治巳

なほ當籤者で大連市内の方には新聞社から當籤通知のハガキをあげますから、それと引きかへに本社でご褒美をお受けとりください。沿線の方には直接お送りしますからそれをたのしみにおまちください。

小學六年生の力試し室

お答は來週出します

國語

(一)次の文を讀んで、後の問に答へなさい、夕食をすましてから縁がはへ出て涼む。父は空をながめて「大層天氣がおだやかになつた[illegible]十日もこれで無事にす[illegible]使ひながら言つた。す[illegible]さん、二百十日は立春[illegible]十日目に當るのです[illegible]、日數を數へてみやう[illegible]

(問)[illegible]へ出て涼んだのは誰々[illegible]の季節はいつですか。(3)父はなぜ安心したのでせうか。(4)立春といふのは何のことですか。(5)二百十日とは、どんな月ですか。

(二)次の文を讀んで問に答へなさい。

或時近邊の人からワシントン傳を借りたことがある。リンカーンはかねがね此の偉人を非常にしたつてゐたので、鬼の首でも取つた氣になつて一心に讀續けた、晝の仕事の合間に讀むのは勿論、夜は床に就いてから燈が盡きるまで讀む。燈が盡きると翌朝すぐ手に取れるやうに、まくらもとの壁際に置く、ところが或夜、夜中に激しい雨が降つたことがある。リンカーンがふと目を覺した時はもう遲かつた。壁のすき間をもつた雨のために本がすつかりぬれてゐたので子供心にも大變心配して其の晩はとうとう眠れなかつた。翌朝貸してくれた人の家に行つて事情を述べ「辨しやうすることが出來ませんから、其の代りに何か仕事をさせて下さい」と願つた。其の人は別にとがめもせず、願に任せて三日間畠の草をとらせ、さうして本はそのまゝリンカーンにやつた。リンカーンは其の本をていれいに乾かして其の後何度もくく讀返してゐるうちに此の偉人の品性に深く感化された。

(問)
(1)ワシントン傳を借りた時のリンカーンの心持はどんなであつたか。
(2)リンカーンはどんなにして讀書しましたか。
(3)草取を三日間したとあるが、どうしてそんな事をしたのか。
(4)リンカーンにとつて、ワシントン傳は、どんなに爲になつたか。
(5)これを讀んでリンカーンのどんな點がえらいと思ふか。
(6)次の文字はこの文の何を指してゐるか。
(イ)〃此の偉人〃の「此の」
(ロ)〃其の晩〃の「其の」
(ハ)〃其の代りに〃の「其の」
(ニ)〃其の人は〃の「其の」
(ホ)〃其のまゝ〃の「其の」
(ヘ)〃其の本を〃の「其の」
(ト)〃其の後〃の「其の」

(三)次の文字を使つて熟語を二つづゝ作れ、
泳、寶、統、雜、優

(四)次の言葉を使つて短文を作りなさい。
(イ)たまもの。
(ロ)かひがひしく。
(ハ)便宜上。
(ニ)力を得て。
(ホ)瞬間。

(五)次の言葉を組合せて一文としなさい。
(イ)忠實に働くと共に
(ロ)勉強を續けた
(ハ)父の手助けをして
(ニ)リンカーンは
(ホ)努力とをもつて
(ヘ)非常な熱心さ

前週の答 算術

(1)イ.0.024　ロ.0.098
(2)イ. 40%　ロ.3割2分
(3)80人÷250人=0.32
答 志願者の3割2分だけ入學出來ます。
(4)

元高	歩合	歩合高	合計高	差引高
12圓	0.36	4.32圓		
8.4圓	0.25		10.5圓	
100	0.35		135	42圓

(5)1−0.8=0.2
400人×0.2=80人
答 試驗なしで入れるのは80人です。
(6)708人÷0.48=1475人
1−0.48=0.52
1475人×0.52=767人
答 男は767人です
(7)5圓×(1+0.15)=5.75圓
答 5圓75錢に賣りました

犬いぢめ

三ケ月そとへ出てならぬ

イギリスほどせ・か・い・で・い・き・も・の・をかはいがるところはありません。ついこのあひだウイリアム・シエフエリスといふ人は自分のかひ犬をいぢめたといふので、三ケ月そとへはでていけないといふことをさいばんしよからいひわたされました。この人はいきものをころすのがしやうばいだつたから、いきものにはなさけがなくてロクロクたべものもやらないから、すつかりやせてしまつたのだらうとさいばんかんはいつたさうです。私たちの滿洲にも馬車をひきまはしてひどく馬をいぢめてゐる滿洲人がたくさんみられます。もしもイギリスのやうなおきてがあつたならあんななさけしらずの滿洲人はだんだんなくなることでせう。私たちもみんなでいきものをかはいがつてやらうではありませんか。

ワナゲヲヤッテミヨウ

寫眞の說明

この寫眞は九月十七日本社後援で行ひました全滿馬術大會で特に滿鐵乘馬部の松尾儀三郎さんにお願ひしてつくりあげたものです。松尾さんは明治神宮競技大會で優勝された滿洲の代表選手です。

1 2 ドンとスタートの合圖がなると、乘り手が馬に一むちあてます。タタ……馬も人も一しやうけんめい、なんといさましいではありませんか。

4 これは馬が前足をふみきつて、障碍物の飛び越えにかゝらうとしてゐるところです。乘り手は馬の運動をじやましないために、からだを前にかゞめてゐます。馬も兩耳を前のはうにやつて、一ぺんに飛びこさうと障碍物に注意してゐます。

3 馬がアト足をふみきつて、障碍物のうへを飛んでゐます。四つの足をお行儀よくそろへてゐるところをごらんください。のびきつた馬のからだ、ピツタリと馬のからだについた乘り手、これでなければ上手に飛びこせないのです。

5 これは「スペイン常歩調度」といつてまへあしをあげたところです、これと同じやうにうしろあしもあげて、パカ〳〵と歩くやうになれば「スペインが完全に踏める」といつて立派なものです。

6 7 障碍物を飛びこすために、スタートしようと馳足してゐるところです。

人のお手柄のかげにめざましい馬の活躍

滿洲で働く人たちは馬乘りくらゐ知つて置きたいもの

みなさん、ごぞんじのやうに去年の夏、アメリカのロスアンゼルスで開かれた國際オリムピツク大會に日本の代表の西中尉が馬術競技の一ばん呼びものといはれてゐる大障碍飛越に何んでも世界一だと自慢したがるアメリカのチエンバレン少佐など二等に蹴落して、高さ一メートル十六から巾五メートルに近い大障碍二十個をつゞけざまに飛越て見事優勝しました。そして大スタヂアムの塔に高くたかく大日章旗をかゝげて、アメリカに住んでゐる日本人はもちろんのこと、母國の人々をアツといはせました。この名譽の優勝は、外國人にはまねのできない手足の働きと、注意深い眼の働きと、敗けじ魂と、それに立派な馬があつたからです。

那須の與一の扇の的や、明智左馬之助の湖水渡りやそのほか歷史のご本を見ると馬はきつと人間に手柄をさせるために大へんな働きをしてゐます。それにどうして私たち日本人は馬をおそれるのでせう。今ごろ馬がおそろしいやうでは時代おくれです。わが滿洲も昭和六年の事變このかた奥地をいろ〳〵しらべてあるくことや旅がおほくなつて、大平野の旅にはどうしても馬の背をかりなければならなくなりました。それでにはかに馬乘りのお稽古をはじめる人も少くありません。いざといふときには常日頃から練習しておかなければ馬だけは役立たないのです。

むかしから「南船北馬」といつて、滿洲を旅するのには馬でなければならないのです。滿洲に住んでゐる日本人は誰でも是非馬に乘ることぐらゐは知つて置きたいものです。滿洲事變が起つてからといふものは、はる〴〵から來た新聞記者やそのほかの人たちが、兵隊についていろ〳〵な働きをなしましたが、みんな餘り馬に乘ることが上手でないので、あのおとなしい驢馬さんに乘つてさへも、よく振り落されたといふ面白いお話がたく山あります

取扱ひが悪いと噛んだり蹴つたり

上手な乘り手になるのには苦心もなか〳〵

馬がいろ〳〵な藝を上手にするやうにするのには、いふまでもなく馬がもと〳〵よくなければなりませんが、それにはまた乘り手も大へん上手で、自分の子のやうに馬をかあいがりいつもよくならさなければならないのです。それだけに上手な馬の乘り手になるのにはなか〳〵苦心しなければなりません。馬は大へん人なつこい動物です。かんだりけつたりするのは取りあつかひがわるいからです。親しいお友達と笑ひ話をしながら秋の晴れた郊外や春の野山、または霜の朝などくつわをならべて馬をはしらせるのはほんとうに愉快なものです。そして知らず、しらずの間にからだが丈夫になり、馬乘りが上手になつてゐたために、旅行やしらべごとやいざお國の大事といふときにお役にたつたといふお話は數限りはありません(文責立上生)

小兒と肝油製品

醫學博士　高階修氏述

(一) 肝油とヴイタミンの關係

肝油は有效成分として、其の中にヴイタミンA及びDを多量に含有してゐる。

此のヴイタミンA(脂肪溶解性發育促進)はバターや牛乳中にも含有されてゐるが、肝油には最も多く含まれてゐる。

ヴイタミンDは紫外光線と密接な關係を有し、人體内のエルゴステリンが紫外光線によつてヴイタミンDと成るらしい。ところで此Dも亦前述の如く肝油に最も多く含まれてゐる。

肝油に就ては特に觀る所あつて夙くから研究されたのが河合藥學博士で、發明されたのがミツワ濃厚肝油、その有效成分たるAD共に斷然濃厚で、實に歐米藥用肝油の五十倍に至ると云ふのである。又從來肝油は他の油に比して比較的消化し易いと稱せられ、其榮養價甚大なる故、小兒科領域に於ても缺くべからざるものである。

然し肝油には一種特有の異臭があつて、如何に飲みよいと云ふても實際に當つて飲みにくゝ、まして有效成分の少いものでは連續するに相當量を以てするの要があり副作用として嘔吐下痢等を見る事がある。故に少量で良く效く事が理想的であり、更に之が美味となつたら一層歡迎すべきであらう。

(二) 理想的な肝油製品

此意味に於て河合博士發明の僅少量でよく效く、ミツワ濃厚肝油を原料として更に苦心發明されたミツワ肝油ドロツプスは美味ばかりか、乳化されてゐるから消化吸收の點でも理想的である。

加ふるに腦の發育を早め骨や歯を強くし、血液を增補し胃腸を丈夫にし、又脚氣を防ぐ燐、カルシウム、鐵、キナ及び酵母ヴイタミンB等數多の貴重な強壯料を合理的に配劑してあるから、其綜合的の榮養效果は頗る大きい。例へば肝油中のヴイタミンDはカルシウム及び燐と相伴ふてこそ新陳代謝に及ぼす作用が滿足に行はれると云ふが如き綜合的效果である。

特にミツワ肝油ドロツプス一顆のヴイタミンAD含量は普通肝油の三瓦に相當してゐる。

抑々Aは發育榮養に最も關係深く之の缺乏は自然榮養の障碍、發育の不全を招き、身體の抵抗力が減退して病原菌や寄生蟲に對する感受性が高まり、傳染病や結核病にも甚だ罹りやすくなる。其他夜盲症、眼球や結膜の乾燥症、角膜軟化症等の眼疾を起し又貧血し、結石病に罹る等散々な事になる。

更にAと共にヴイタミンDが併存する事によつてAもDも愈々其の效果を完全に顯すので、Dは特に日光中の紫外線に代り得る性質を有し骨骼及び歯牙の發育に缺くべからざるものである。之を缺く時は骨軟化症や佝僂病になると云はれてゐる。それから前述の無機鹽類の新陳代謝に障碍を來し、腺病質の發生に深い關係があると云はれてゐるのは、最も注意すべきである。

(三) 小兒科と肝油使用の關係

今小兒科領域から肝油劑を使用すべき場合を簡單に述べると、

(一) 腺病質　之は直接結核菌と關係ありと考へられてゐるが、結核菌に犯されてゐる小兒が凡て之に成る譯ではないが、之等の小兒は常に弱々しくて顔面頸部等に絶えず濕疹が出來て居り、頸部其他の淋巴腺扁桃腺は肥大し氣管枝カタルや鼻カタルを起しやすい。此様な素質の小兒は結核菌に犯されやすい事も確である。腺病が進むと次の様な症狀を現す。

(イ) 淋巴腺系統の症狀。下顎關節の所の淋巴腺から始まり頸部の淋巴腺を犯し更に鎖骨上部の淋巴腺迄も犯される。初めは大豆大の堅い腫物に過ぎないが遂には外部に軟化し化膿する。胸部淋巴腺も同様。

(ロ) 骨系統。骨及び骨膜等に結核變化が行はれ、骨は壊疽に陷り、骨膜は肥厚し、手の指等に來ると紡錘狀となる。

(ハ) 粘膜系統の變化。扁桃腺の肥大、慢性の氣管枝カタル、腺病性結膜炎となる。

腺病質の小兒には榮養に注意する事が大切で、ミツワ肝油ドロツプスは誠に子供に飲みやすく、腺病の豫防強壯料として之を常用する事を先づ以てお奬めしたい。

(二) ヴイタミンAの缺乏　之には角膜乾燥症及び角膜崩壊症等がある。角膜が光澤を失つたかと思ふと混濁が起り破壊されてくるし遂には失明するに至るものだが、早期に氣が付き肝油劑を與へれば失明を豫防する

(三) ヴイタミンDの缺乏　に依つて起こるのは骨軟化症や佝僂病であるが、之は生後二ケ月乃至二ケ年位の乳幼兒に多く來るもので、一般症狀として顔面は蒼白となり、小兒は絶えず不安狀態にあり立歩きも遲延し或は歩いてゐた小兒は急に歩けなくなつたりする。尚いろ〳〵の異狀を來し、歯牙の出方も遲れ、出た歯も軟弱であつたりする。胸部にも鳩胸等の變化を起こし、四肢にも長骨の彎曲、がに股、O脚、X脚等の變形を認むるものである矢張り一番肝油劑が豫防に有效である。

以上の他榮養の悪い小兒、發育不全の小兒等には肝油劑の應用は實に大切であつて、數多ある肝油劑中理想の肝油劑たる、ミツワ肝油ドロツプスの常用をおすゝめする次第である。

(家庭醫事新報第一九二號より轉載)

けふの歴史

城山を枕にして西郷隆盛死す

鐵砲にも驚かぬ大たんな人

☆……隆盛は鹿兒島の人で、明治維新には大きなてがらをたてました。しかしみなさんもごぞんじのやうに、せいふの人といけんがあはず鹿兒島にかへつてゐましたがわかい弟子たちにむりにおしたてられて谷干城のまもつてゐる熊本城を攻せて官軍をひどくくるしめました。あのいさましい谷村計介がじぶんのやくめをりつぱにはたして官軍のあぶないところをすくつたおはなしのでてくるのはこの時です。このために隆盛はまけて鹿兒島にひきあげて城山にたてこもりましたが、すつかりまけてしまひ、九月二十四日つひに城山をまくらにして死にました。

☆……隆盛がまだわかいとき、幕府のものしりとして名高い勝安房のところに學問をおしへてもらひにはじめてたづねていつたことがありました。ところが安房はうちにゐてもなかなかでてきてあつてくれません。あまりながいことまたせられるので隆盛はぐつすりげんくわんにねこんでしまひました。すると安房はそこへきてドンと一ぱつ鐵砲をうちました。このものおとにびつくりするかと思ひのほかおどろきもせず、しばらくしてから、モクリとおきあがり、あたりをみまはしたといふことです。隆盛はわかいときからなにごとにもこんなに大たんな人だつたさうです。

ご苦勞さまな渡り鳥

地球を半まはりして南極へ飛ぶ北極のアジサシ

下關あたりのある工場に何萬といふ燕が集まつて來てゐるといふお話を、ついこの間、こども新聞でみなさんにおしらせしましたね。いよ／＼秋になりましたから燕たちは夏中に日本で生み育てた子供をつれて、これから南のあたゝかいジャバやスマトラの方へとんで行くのです。この出立の前には一度勢ぞろひをしますから、その時は何萬と一つ所に集まることがあります。これと入れかはりにシベリヤあたりでこの夏中子供を生み育てゝゐた鴨や雁のなかまが、秋から冬へかけて日本にとんでいきます。そしてこれは燕とちがつて夜さかんに餌をさがしに池や湖に出かけ、ひるまは安全な場所で休んだり眠つたりしてゐるもので、東京の宮城のお濠にゐる鴨たちは實はかうして休んでゐるところです。

そのほか千鳥のやうに、北から南へ行く途中、しばらくだけ日本の海岸や河に姿を見せる鳥もあります。北極アジサシといふカモメににた海鳥などは、ほとんど地球を半周して北極から南極近くまで渡つて行くといはれてゐます。一たい何のためにご苦勞樣にもこんなにながいたびをするのか、氣の知れない話でせう。現に雀や鳥のやうにあまり旅行しないのもあり、鶯や百舌鳥（モズ）のやうに、山へ行つて子供を育て里へ出て來て啼くのもあり、何もわざわざながい旅行なんかしなくても生きて行けさうなものです。鷄や家鴨から飼ひならした家鴨なんか、決して渡りはしなくなつてゐます。

かういふところから、昔は多分その鳥の好きな餌が時候によつてゐなくなるので喰ひたい一心でながい旅行をするといはれてゐました。ところが調べて見ると、たべ物はまだ充分あるのに渡つて行くのですから、この「喰ひたい一心」といふのが怪しくなり、今では、たぶん子供を生んだり育てたりするためだらうといふやうになりました。わたり鳥は子供の生れる頃の少し前になると、みんなイライラして來て落ちつかなくなり、何となく住みなれたところにゐたゝまらなくなつて、とび出してしまふのです。時とすると子供を大切にする癖のある鳥でも、その大切な子を捨てゝ渡つて行つたり、羽根を切られた鳥がテク／＼歩いて何百粁も渡つて行つたといふ話さへあります。ともかく渡り鳥が出かける時の意氣込みといつたら、こんな風にまるで半分氣狂ひのやうです。

その他この世界がまだまだ若くて、人間やけものゝ生れなかつたころや、その後これ等が生れてからも、全世界が何度も寒くなつたり熱くなつたりして、寒い時には、北極や南極や高山だけにしか今ない氷河が、そのころは世界の半分以上まで乘り出して來て、鳥などはそれに追はれて南に移つて行きました。その時分の先祖の癖が今なほ殘つてゐて、御苦勞千萬な渡りをするのだといふ人もあります。どれが本當か今のところではハッキリしませんが、鳥によつて渡る方向も速さも違ふのですから、渡りの起りだつて無理に一通りに限るには及ばないのかも知れません。

ほくきよくのアジサシ

があがあアヒル

チドリ

家庭滿洲語 紙上講座

第廿七課

一 (1) 穿衣裳。 (2) 穿襪子。 (3) 脫衣裳。 (4) 換衣裳。

二 (1) 穿鞋。 (2) 脫鞋。 (3) 穿襪子。 (4) 脫襪子。 (5) 不穿襪子。 (6) 不脫鞋。

三 (1) 洗衣裳。 (2) 晒晒。 (3) 乾了。 (4) 收起來。

四 (1) 乾淨。 (2) 不乾淨。 (3) 洗乾淨。 (4) 涮乾淨。

【譯語】

一 (1) 着物を着る (2) ズボンを穿く (3) 着物を脫ぐ (4) 着物を更へる

二 (1) 靴を履く (2) 靴を脫ぐ (3) 足袋を履く (4) 足袋を脫ぐ (5) 足袋を履かない (6) 靴を脫がない

三 (1) 着物を洗ふ (2) 日に當て、乾す(乾せ) (3) 乾いた(干た) (4) 仕舞ひ込む(取込める)

四 (1) 綺麗(清潔) (2) 汚い(不潔) (3) 綺麗に洗ふ (4) 綺麗にゆすぐ(茶碗など)

【說明】

穿は穿つ、貫く等の意であるが着物などの場合は「着る」ズボンなどの時は「穿く」履物などには「履く」と譯す。

脫はいふ迄もなく續て「脫ぐ」ここで、穿に對する反面である。

換は取替へる意味で、脫ぐ、穿くの事柄に使はれる。

晒は曬の略字で、直接日に當てゝ干すことである、陰干しにすることは別に晾(リアン)といふ言葉が有るから、直接日に當てゝよいものと惡いものとに依つて使ひ分けなければ成らない。

乾淨は綺麗即ち清淨又は清潔の意であつて、美麗(好看)といふことゝ區別しなければいけない。

發音上の注意

穿 ツ(ウ)オアヌ 涮 ス(ウ)オアヌ 換 ホ(ウ)オアヌは孰も(ウ)オアヌといふ結合した韻を持つて居るから、初めは口をすぼめた(ウ)からオに移り、オからアに移つて段々に口の孔が廣がつて行く樣に練習するがよい。

換 ホ(ウ)オアヌは口を小さくすぼめた(ホ)から出發するのであるから(ホアヌ)又は(フアヌ)と成らぬ樣充分に注意されたい。

前週の答

(1) 拿東西去 (2) 拿甚麼東西去 (3) 拿書去 (4) 拿筆寫字 (5) 拿筷子吃飯 (6) 拿匙子喝湯 (7) 吃飯用筷子 (8) 喝湯用匙子 (9) 不用酒杯 (10) 用甚麼東西

【問題】 次の言葉を支那語に譯せ

(1) 着物を着ない (2) 靴を履かない (3) お前取替へろ (4) 水を取替へる (5) 着物を着更へない (6) 日に當て、乾かした (7) 皆仕舞ひ込んだ (8) 綺麗に拭く (9) 綺麗にブラシを掛けたか (10) 大層綺麗に成つた

一年前の回顧

訪滿學童使節來連 (九月二十四日)

訪滿學童使節一行十五名は滿洲國建國の祝意と正式承認と共に日滿親善の重大使命を双肩に擔ひうすりい丸にて恙なく來連しましたが在連教育界の人々や在連學童代表等の多數の出迎へを受け日滿國旗を打ち振りつゝ目的地に可愛い第一歩を印しました。

滿洲特產協會開催 (同 二十五日)

午前十時より大連ヤマトホテルで滿洲特產協會第八回總會を開催、種々の討議を終つた後滿蒙事情に關する講演會が開かれ「銀と特產について」「大豆工業に關する研究問題」「滿蒙資源と日本」等斯界のオーソリテイの研究發表あり多大の感銘を與へました。

岩瀬・木下の奮戰 (同 二十六日)

大連實業團對全奉天軍の二回戰において、岩瀬、木下の兩實業投手は奉天軍の强打者をむかへ二日續けてノーヒット、ノーランの記錄を作りました。

中野正剛氏講演會 (同 二十七日)

新興滿洲國觀察のため來滿した國民同盟常任委員中野正剛氏の講演會は本社後援のもとに午後四時半より協和會館で開かれましたが會衆三千、約二時間にわたる大雄辯は滿場の拍手を受けました。

滿洲航空會社設立 (同 二十八日)

滿洲國政府は滿洲の大平原を連絡するには航空機が最も便利であるとし滿洲航空株式會社を設立、新義州、奉天、新京、ハルビン、大連、奉天間の航空連絡をする旨發表しました。

初代駐日代表入京 (同 二十九日)

滿洲國初代駐日代表總領事鮑觀澄氏一行は午前八時半本庄將軍、吉田大使以下多數の知名士並にホールをうづめる群衆の萬歲の歡呼に迎へられ東京驛に着きました。

滿洲國に全權大使 (同 三十日)

帝國政府は滿洲國承認決定、現代列國各國と同樣運用されてゐる特命全權制度を滿洲國にも適用して特命全權大使を滿洲國に駐剳せしむることに閣議で決定しました。

今週の獻立

	朝	晝	晩
日	葱、大根、味噌汁 花らつきよう	蟹玉子、大根おろし、焼茄子	竹輪、角天、里芋、蒟蒻がんもどき、おでん、辛子
月	とろゝ昆布味噌汁 なすの辛子漬	南瓜、きんちやん	メンチボール、野菜サラダ
火	若布味噌汁、小えび佃煮	ほうれん草、ごま和へ、炒り豆腐	鯵二杯酢、ちらし玉子、もみ海苔清汁
水	茄子味噌汁、胡瓜の味噌漬	白瓜芋子和へ、支那大根、煮付	豚肉、生姜焼、やきふ、三葉清汁
木	豆腐味噌汁、山椒昆布	鶏卵、肉湯、もやし、胡瓜、大根、ごま和へ	鰆照りやき、とろゝ昆布清汁
金	しじみ味噌汁、大豆煮豆	卵の花、玉子、人參、葱、酢入り	鮪の山かけ、はんぺん、三ツ葉清汁
土	里芋味噌汁、海苔佃煮	チキンライス、フルーツ、サラダ	海老、人參、牛蒡、いんげん豆、天ぷら、大根おろし

腸疾患に對し
先づ第一に處方せらるべき
ヘーフエ菌劑『わかもと』
腸治療劑の變遷
腸治療界の進歩に從ひ、腸治療劑にも段々の變遷、進歩を來した。——即ち、曾ては消化管内の異常醱酵に過酸化マグネシウム、腸カタル又は腸の潰瘍性疾患に基く下痢に次硝酸蒼鉛が處方せられたが、之等の化學藥劑は一の症候にのみ奏効する所謂對症藥劑であつて、腸機能を根本から强健にする作用に缺けることが普く認められるに至つてからは、醫家も特殊の場合を除く外は之を處方しなくなつた。
之等の化學劑に代つて腸治療界に出現した藥劑は乳酸菌製劑であつた。乳酸菌が整腸、防腐、殺菌に卓効あることはメチニコッフ博士が夙に提唱せる處であるが、乳酸菌はその菌が死滅してゐる場合は何等の整腸効果もない。然して製劑後長時日を經過した乳酸菌劑はその菌の生死が常に問題となつてゐる、——況や粉末や錠劑に製劑しては乳酸菌が短時日に死滅するのは當然とみられてゐる。——即ち、今の乳酸菌劑を腸疾患に處方して兎角要期の効果が擧らぬといはれてゐるのはその爲であらう。
この缺陷に飽足らぬ、心ある醫家が、期せずしてヘーフエ菌劑「わかもと」を腸疾患に處方し、腸治療界に大なる光明を齎すに至つた事は近年の業績に屬する。「わかもと」の成分たるヘーフエ菌は乳酸酵素を含有してゐて、腸内で生化學的に强力な乳酸を醱酵して整腸防腐、殺菌作用を遂ぐ、——即ち、「わかもと」の發揮する効果が在來の乳酸菌製劑に優る點は、時日の經過によつて乳酸的効果を消失する憂ひがないことである。
下痢の消退
快適の便通
ヘーフエ菌劑「わかもと」が腸カタル、——下痢を治癒に導くのは、單に「わかもと」によつて產生された乳酸効果にのみよるものでなく、また「わかもと」中のエンドトリプシン（Endotrypsin）が腸内の異常醱酵を防ぎ、腸内の有害細菌を撲滅消化する作用と兩々相俟つて合理的治効を收めるのである。併も、その下痢消退の作用は、從來應用せられし激性なる藥物と異り、副作用なく、連續服用せしめて益々腸を强壯ならしめる。——これ主として「わかもと」の特質たる細胞原形質賦活作用（Protoplasma Aktivierung）に原因するものである。
下痢と症候の相反する便秘が「わかもと」によつて治癒せられるのも、畢竟この「わかもと」の特質たる細胞原形質賦活作用による。——根本より觀察すれば下痢、便秘いづれも腸管細胞の機能異常より發せる同一疾患であるが、「わかもと」は實にこの機能異常を正常に復せしめる藥である。
腸胃疾患の權威、墺國、バウエル博士はこの間の事由を約言して曰く——「ヘーフエ菌が消化作用を促進し、腐敗醱酵を制し、腸胃の諸種の障碍を防ぐ、その効果は組織全般に及び、殊に便秘を永久に癒すにはヘーフエ菌劑に優るものはない。これはヘーフエ菌が疲憊せる腸の筋肉を强め、その機能を振興させるからである」（イーストテラピー所載）
白米中毒と
早老、疲勞防止
白米常食者が脚氣に罹ることは普く知られてゐる。が、白米常食者で、脚氣に罹らぬ者もその多くが白米中毒に陷つてゐる。——この現象は、青年にあつては、寸秒を爭ふ運動競技の場合、記錄の低下を示すことによつて現れ、又電車の中や勤務中に睡氣を催すのも白米中毒現象の一徵候とみられ、中年以後に及んで根氣精力の衰へを自覺し、早老に陷るは慢性白米中毒の結果である。——幸ひ、白米常食者も白米に缺けてゐる諸榮養素は副食物によつて補つてゐるために、辛うじて重篤な惡影響から免れてゐる。——が煮沸せる食物は凡てヴイタミン其他の貴重な榮養素を喪失して榮養上缺陷あるものが多い。
ヘーフエ菌劑「わかもと」は白米に缺けてゐる脂肪、蛋白、各種無機鹽類の外副食物からも喪失し易いヴイタミンCを始め、A、B、D、E及び多種の活性酵素を含有してゐて、實に「榮養原」の名に反かぬものがある。——この點、「わかもと」が白米常食者に常時服用せしむべき藥劑として、運動エネルギー持續に、疲勞恢復に、早老防止に、近來著しく賞用を增しつゝある所以である。
乳小兒の腸疾患
小兒科醫院長　顧問　醫學博士　小田美穗
乳小兒の腸疾患は、主としてお乳の過飮、不良牛乳、不完全な哺育料、不消化食物等に原因するもので、この疾患は我國乳小兒全死亡率の過半數を占むる怖ろしき疾患である。乳小兒の腸疾患はたとへ、極く輕微なる場合に於ても吾々は之を頗る憂慮する。——それは、乳小兒の腸疾患たる下痢、便秘等が持續すれば必然、續發的に諸臟器の榮養並に新陳代謝に變調を來し、ために生體の榮養が衰へ、全身の組織細胞に障碍を惹起して、屢々重篤なる狀態に陷るからである。
この憂慮すべき乳小兒の腸疾患に、余がヘーフエ菌劑「わかもと」を投與せる實績をみるに
綠便、粘便、便祕、下痢は
多く數日を出でずして輕快し、殊に牛乳、ミルク、重湯等、人工榮養兒の哺育料中に「わかもと」を添加すれば、消化を助けて便を整へ、且つ著しく發育を促進するは既に吾人が既往に於て例證せる處である。——「わかもと」は、發育未完の纖弱なる乳小兒の腸胃にも、化學藥劑にみるが如き副作用がなく、腸疾患を病原からよくし、且つ發育を促進する効の著しいリヂン、ヒスチヂン等をも含有してゐるので、乳小兒の腸疾患、——綠便、粘便、下痢、便祕——並に發育不全には、「わかもと」の如き生物學的藥劑を投與することが最も適切であることを痛感する。
腸
急性
慢性
腸カタル、異常醱酵、鼓腸
消化不良、下痢、便秘、脚氣に
わかもと
澤村東大名譽教授發見
專賣特許——新藥
藥價低廉
三〇日量　一圓六十錢
（用量一日三・〇瓦＝九〇瓦入）
携帯用（ポケツト瓶）五十錢
發賣元　東京市芝公園大門内際　榮養と育兒の會
海外代理店　三井物產株式會社
電話芝三三八・一一七七番　振替口座東京一七〇〇番
滿洲總代理店　大連市濱町一四七　日本賣藥株式會社
食慾素
食慾不振に一二の苦味劑、單寧劑、其他一時性刺戟劑を有するに過ぎなかつた治療界は、ヘーフエ菌劑『わかもと』によつて、始めて强力なる食慾催進劑を得た。卽ち本劑を服用せしむれば、健康者が空腹時に嗜好物に對せる如き食思を誘發し、食物攝取と同時に唾液、胃液の分泌旺盛となる。これ、本劑の主菌ヘーフエの含有する十數種の酵素とグリコキニンの主として然らしむる結果にして、佛國の胃腸病の大家ボアス博士は、この非凡なる奏効に對し「食慾素」の別名を以て呼ぶ。
從來、治療上難點であつた結核性の食慾不振の如きも、「わかもと」によつて迅速に一掃せられ、其他、諸種の重病經過中の衰弱せる食慾恢復して、病勢に好轉闢き與へたる例の多きは、本劑を處方せる醫家の驚異とする處である。